

**TOHO GAKUEN
SCHOOL OF MUSIC
2023**

目次	
プロローグ	3
桐朋の教育理念	10
学びの三本柱	
鍛える（ソルフェージュ、音楽理論）	11
究める（専攻実技、副専攻、選択副科）	12
超える（オーケストラ、室内楽・二重奏ソナタ）	13
桐朋の学び	
ピアノ専攻	16
弦楽器専攻	17
管楽器専攻	18
打楽器専攻	19
ハーブ専攻	20
古楽器専攻	21
声楽専攻	22
指揮専攻	23
作曲専攻	24
音楽学専攻	25
カリキュラム	26
指導陣	28
特別レッスン	32
桐朋生のキャンパスライフ	
桐朋生の1日	35
活躍する桐朋生	38
コンサートのスケジュール	40
キャンパスガイド	42
桐朋生の進路・進学	
高校卒業後の進路	45
大学卒業後の進路	46
留学について	47
大学院への進学	48
特待生・奨学金制度	49
入試情報	50
アクセスマップ	52

音と向き合うための 学び舎

よい音を識るということ。

よい音を識るために、音をよく聴くということ。

音をよく聴き、響きの中に豊かな表情を見つけること。

この新たな学び舎は、

一流の音楽家に必要な素養を磨くための、

大きなひとつの楽器である。

自らの手元だけではなく、空間全体を使って

自分の音と向き合ってほしい。

「大きな楽器」の中で才能を育む 音楽家のこだわりを結集させた

2021年、桐朋学園音楽部門仙川キャンパスに新校舎が完成しました。教室、レッスン室、そして桐朋学園宗次ホールからなる木造の校舎は、通称「H館」と呼ばれ、隣接する既存校舎「S館」とともに建築家・隈研吾氏によって設計されました。「巨大な木の楽器がその中で音楽家を育てている」というイメージから発想されたH館は、建物の外観だけでなく躯体も木で造られた大規模建築物として、建築業界でもその先進性が高く評価されています。

理想の環境を実現するために議論を重ねた構想段階

桐朋学園は創立当初からこれまでずっと、自前のホールを持たない音楽学校でした。演奏会や卒業試験などは、その都度学外のホールを借りて行っていたため、ホールで演奏することによってのみ感じる独特の緊張感や音の響きなどを経験する機会は限られていたのです。しかし、音楽専用施設であるコンサートホールでの演奏体験は、音楽家としての成長に欠かせない重要な意味を持ちます。桐朋の音楽教育をより充実させるために学内にホールを設けたいという思いは、新校舎建築計画の一環としてようやく実現することになりました。

ホールを含めた新校舎全体を木造にするという案は、当初は賛否が分かれましました。木は美しい響きを生み出しますが、一方で強度や耐火性などに不安があったためです。こうした安全面に



桐朋学園で行われた隈研吾氏による建築計画のプレゼンテーション。校舎の模型が見える



ホールの柱の強度実験

加えて、遮音性、工期の長さ、費用などについても検討を重ね、最終的にCLT（Cross Laminated Timber）という比較的新しい工法にたどり着きました。

CLT工法は、木材の繊維を交差させながら積層させ、非常に強い構造材を造る建築技術です。海外に比べ、国内ではCLT工法による大規模建築の施工実績が少なく、チャレンジングな選択ではありましたが、木材でありながら耐火性や耐震性に優れるという特徴を持ちつつ工期も短縮できるという点から、この工法が選ばれました。

繰り返し検証を行いながら完成形を目指していった

桐朋学園宗次ホールの壁面や天井には、折り紙から着想を得たという意匠が凝らされています。折り紙の表面

部分はCLTの木目をそのまま生かしており、厳選されたヒノキを使用して美しい外観に仕上げられています。これは単なる飾りではなく、「折半構造」という、屏風のように角度をつけて組み合わせた板による構造体です。折半構造は強度があるために、ホールの広い空間を支えることができます。強度を確認するためにCLTに負荷をかけるテストなども行いました。

さらにこの構造体は、音響反射板としての役割も担っており、折り紙の折り目にあたる部分の交差角度は、構造計算で算出した強度と音響とのバランスに則って決められました。

音響テストでは、同じく木造の既存校舎であるS館の様々な教室で音のデータを収集し、音響設計担当者が



音響実験用のホール模型

響きのサンプルを作成して、理想的な音響を追求しました。空間の構造を検討する際は、精巧なホールの模型を作成し、その中で音がどのように響くのかを検証しました。



前田建設工業株式会社 ICI総合センター

遮音性についてもテストを何度も実施しています。実寸大の遮音性テスト用の壁を用意し、条件を変えながら実際に楽器を使って遮音性能を確認していきました。計算上も、スピーカーを使った遮音実験でも十分な遮音性能が認められたにもかかわらず、楽器を使った実験では音が漏れてしまうということもありました。

高度な構造計算技術を駆使して設計デザインの可能性を探る一方で、音響や遮音性能などの検証では、実際に楽器を用いた地道な実験を繰り返しました。

実際に使うシーンを描きつつ誰もが利用しやすいつくり

桐朋の教育は、高大一体を特色と

しています。新しいホールは、それを具現化する集いの場として構想されました。高校と大学、さらには大学院や附属音楽教室の生徒、学生たちが、このホールを「普段使い」の施設として日常的に使用できるよう配慮したデザインを採用しています。

その一つがステージの大きさです。通常のホールでは全体の3割程度がステージ、残りは客席というバランスで設計されることが多いのですが、桐朋学園宗次ホールでは、ステージと客席との面積比がほぼ1:1という、ホールのサイズに対して異例ともいえるほど広いステージを備えています。高大のオーケストラが毎週の授業でを使用することを想定して、このように設計されました。

ホールの座席は体の小さな音楽教室の生徒も座りやすいように、通常は下げたある肘掛を上げることで、ベンチとして使用できるようにしました。また、校舎の廊下の中心にある僅かな凹凸は、視覚に障がいのある生徒が安全に歩行するためのガイドです。

多様な視点によるアイデアと試行錯誤を詰め込んだこの校舎に、ぜひ足を運んでみてください。木の香りに満たされた大きくて精巧な楽器の中で、一流の音楽家を目指してともに学べる日を心待ちにしています。



ホールのステージ後方から客席方向を見る。足場を外す前に照明を取り付けた

特別な場所で 日々、研鑽を積む

教育の場としてのホールをつくりたい。

その思いを形にした桐朋学園宗次ホールで、
ここでしかできない教育が明日の音楽家たちを育みます。



1. オーケストラ基礎：高3弦楽器と大学生 2. 弦楽オーケストラI：高1弦楽器 3. ウィンドオーケストラ：管打ハープ 4. ピアノ室内楽：高1ピアノ

桐朋学園宗次ホールは、内外の演奏家によるコンサートを行うだけでなく、高校や大学の実技試験、授業などを行う教育の場でもあります。

ホールで行われている授業は、「ピアノ室内楽」（高校1年：ピアノ専門）、「ピアノ演奏法」（大学：ピアノ専攻）、「弦楽オーケストラI」「弦楽オーケストラII」（高校1、2年：

弦楽器専門）、「オーケストラ基礎」（高校3年：弦楽器専門、大学：弦・管・打・ハープ専攻）、「オーケストラ中級」「オーケストラ上級」（大学：弦・管・打・ハープ専攻）、「ウインドオーケストラ」（高校：管・打・ハープ専門の指定された生徒、大学：管・打・ハープ専攻）です。これらの授業では、様々な曲を取

り上げて練習しながら、アンサンブルの技術やリハーサルの方法を実践的に修得していきます。

コンサートホールは、音楽の演奏に適した響きとなるよう音響設計されています。ホールでオーケストラや室内楽などのような授業を行うことで、響きの少ない教室では気付きにくい、空間を意識した音作りを学ぶことができ

るのです。

響きの良いホールで演奏すると、音は「出すもの」ではなく「響かせるもの」であると、改めて感じます。空間をどのように使って響きをつくるのか。どのように音を出せば、ホールの空間が応えてくれるのか。美しい響きをつくるために、どのように体をコントロールすればよいのか。ホールは、実技

教育の最終的な現場といえます。

欧米のオーケストラには、しばしば本拠地となるホールがあります。ホールがオーケストラを育て、個性を花開かせます。桐朋学園宗次ホールが、桐朋生を個性豊かな優れた音楽家へと育ててくれるのです。

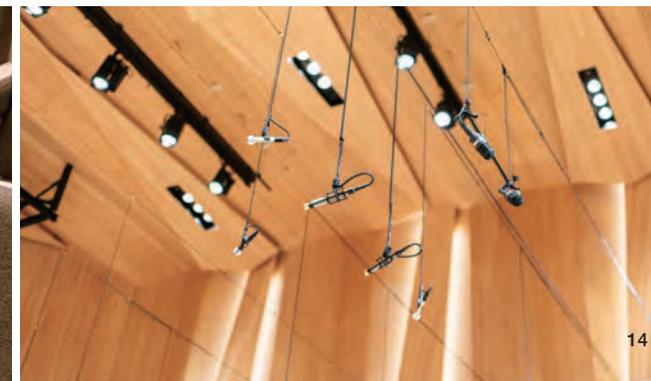
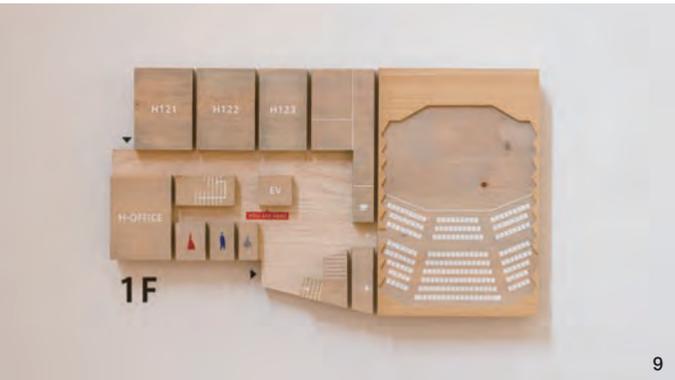
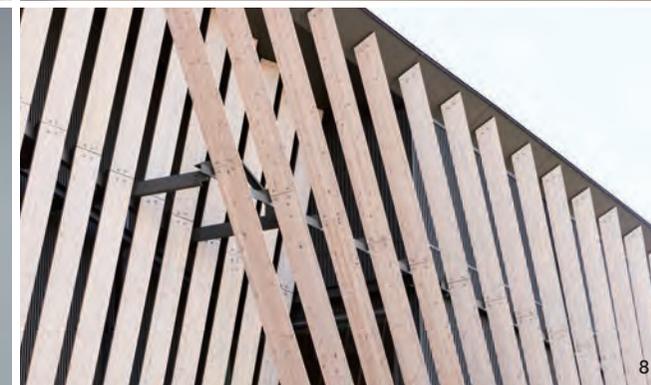
教室やレッスン室の並ぶ通路の一角に、桐朋学園宗次ホールの扉があ

ります。著名な音楽家のコンサートがあれば、先刻までレッスン室にいた桐朋生が、楽器をロッカーにしまって聴きに来ることもあるでしょう。その同じホールが、音楽家として大切なことを桐朋生たちに経験させてくれます。彼らがいつか、後輩たちに演奏を聴かせる立場として、大きく成長して戻ってきてくれることを願っています。



未来の音楽家を 育む充実の学び舎

学生がより良い環境で自らの音楽を
探究していけるよう、広い空間から細部に至るまで
こだわりの詰まった校舎になっています。



1 「楽器の中で学ぶ」 を目指した校舎

多くの楽器が木でつくられている
ことから木造にこだわった本校舎。
CLTを多く使用した建築は例が少な
く、多方面から注目されています。

2 選び抜かれた 美しいヒノキ

新校舎全体にはヒノキをふんだんに
使用。ホールの壁面や舞台には仕上
げ材として節の少ない美しいヒノキ
を厳選しています。

3 インクルーシブな 環境をつくる工夫

廊下に敷かれた金属製のセンターラ
インは、歩行を邪魔しない程度のわ
ずかな凹凸と感触の違いで、目の不
自由な人を安全に誘導します。

4 学園生活を守り、 校舎を彩る CLT

構造体としての強度はもちろん、耐
火性にも優れているCLTは、特徴の
ある断面によって印象的な空間を演
出してくれます。

5 音楽家ならわかる ユーモラスなサイン

校舎入口付近の窓には、衝突注意の
サインとして停止の意味も持つ音楽
記号のフェルマータが、音楽学校な
らでは遊び心が垣間見えます。

6 追求を重ねた響きを つくるための角度

折り紙のような構造が印象的なホー
ルの壁面は、音の響きを追求してた
どり着いた角度である120°に設計
されています。

7 コンセプチュアルな ホールのシンボル

宗次ホールのイニシャル「M」をも
とに、ピアノや弦楽器に見られる曲
線、タクトや打楽器のバチの直線な
どが用いられています。

8 木の弦がつくりだす リズムを楽しむ

校舎全体を覆っているルーバーは楽
器の弦をイメージ。壁面の角度を変
化させることで、見る位置によって
様々な表情を見せてくれます。

9 見た目も楽しい、 ユニークな案内図

立体の案内図は、ホールで使われた
木材でつくられています。木の温も
りを感じるかわいらしいデザイン
で、訪れる人の目を楽しませます。

10 たくさんの光を 浴びて学ぶ教室

新校舎には授業を行う教室やレッ
スン室も併設されています。教室は外
光を多く取り入れられるよう、大き
な窓のつくりになっています。

11 休憩時に迎えてくれる 小さな音楽家たち

トイレ入口のサインも音楽学校なら
では、木の色で男女を識別できるよ
う工夫し、楽器を持つ角度など細部
までこだわってつくられています。

12 時間によって見せる 表情を変える校舎

時間ごとの光によって印象が変わる
校舎外観は、日が暮れ始めるとライ
トアップされ日中とは違った表情を
みることができます。

13 「聴く学び」を支える こだわりの椅子

快適な座り心地はもちろん、肘掛を
上げるとベンチ型にもなり、学生だ
けでなく音楽教室の子もたちにも
座りやすい工夫が施されています。

14 より良い音を届ける 充実の設備

舞台上に備え付けられているマイク
は、目立ちにくいワイヤー方式を採
用。演奏者の邪魔をせず、様々な楽
器編成に柔軟に対応できます。

桐朋の教育理念

【ディプロマポリシー】

以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生は、卒業が認定されます。

- I. 専門分野を究めるための表現力を有し、主体的に学び続ける意欲を持っている
- II. 専門を支える基礎力としての知識と技能を有し、よいものを探求して見つけ出す能力を持っている
- III. 柔軟で汎用的な視点を持ち、今日的な課題について適切な判断ができる
- IV. 幅広い音楽文化に関心を持ち、専門の枠を超えて新しい音楽文化を創造できる

桐朋学園音楽部門の歴史は、1948年、「子供のための音楽教室」開設から始まります。その教育は、幼児期の自然な歌、あるいは身の回りの音と戯れる喜びから発露する表現への欲求をすくい上げ、早期音楽教育の出発点として位置付けようとする試みでした。「子供のための音楽教室」はその後、教室に通う子供たちの成長に応じて高校、大学、大学院へと展開し、早期教育の成果を一貫した教育理念のもとで発展させる場として、今日まで多くの

優れた音楽家を育成してまいりました。

本学の教育は、専攻実技や合奏教育を中心に、ソルフェージュや音楽理論などの専門科目、語学科目、一般教養科目を配し、これら相互関連の総体を学生・生徒の音楽形成の場として捉えています。なかでも、音楽的感性を鍛える「ソルフェージュ」、表現の可能性を究める「実技」、他者と出会い、自己の枠を超える「合奏」の3つを教育の柱として、柔軟で開かれた教育を実践していきます。

鍛える

究める

超える

鍛

究

超

鍛える

形のない「音」を捉え、使いこなすために不可欠なソルフェージュ。桐朋のソルフェージュ教育は、「音楽する耳」を鍛えます。訓練された繊細な聴覚は、和声法などの音楽理論に裏打ちされることで精度を増し、客観性を獲得しま

す。自身の音を聴き、的確に批評できる耳が、力強く説得力のある表現を生み出すのです。ソルフェージュ教育によって育まれた「音楽する耳」は、生涯を通じて音楽家としての成長を支えてくれるでしょう。



響きの細部を捉える
「耳」をつくる

【ソルフェージュ】

ソルフェージュ教育は、桐朋建学のルーツといえるものです。高校と大学初級では、週2回の授業で基礎力の定着に十分な時間をかけ、大学中級以上では、教員の個性と専門性がより際立つ講座を展開します。基礎を重視する指導がその後の大きな成長を促し、音の表情の細部を余さず捉え、分析する耳を育てます。



音楽家として
必要な理論を身につける

【音楽理論】

音楽理論を学び、音楽の構造や手法を知ること、一つひとつの音の意味を正確に捉えること、音楽を言語のように組み立てることが可能になります。音楽理論に精通することで得られる作品に対する深い理解は、音楽表現の純度を高め、バランス感覚を鍛えます。それが聴衆に感動を与える音楽を生み出します。

鍛 究

超

究めめる

極めて実践的な実技教育ですが、そこで示されるのは音楽を究める道を進むための指針です。「音楽を究める道」とは、日々の生活、日々の学びによって築かれます。音楽の探究に終わりはありません。

桐朋の教育の基幹は、一対一の個人指導で行われる実技教育です。これは、学生・生徒を自立した音楽家として認め、主体性を尊重することによって、「訓練」ではなく「教育」と呼べるものになります。ここで行われるのは



開かれた学びの場で個性を伸ばす

【専攻実技】

原則として週1回60分の個人レッスンが行われ、高校から大学、大学院まで、同一教員による継続的な指導を基本とします。実技試験は年2回行われ、コンサートホールでの卒業試験は一般公開されます。内外の著名な音楽家を招聘して行う公開レッスンや公開講座、マスタークラスなど、研鑽の機会も多く用意されています。

二つの専攻でキャリアの幅を広げる

【副専攻】

副専攻は、主専攻以外の実技を主専攻同様に学ぶことのできる制度で、大学生を対象としています。希望者は試験を受け、合格すれば大学1年次から3年次のいずれからでも受講できます。レッスンは週1回60分。4年次には卒業試験があり、修了要件を満たせば「副専攻修了証」が授与されます。

興味を育て可能性を広げる

【選択副科】

在籍年次に関わりなく高校生から大学生まで履修可能。専攻以外の実技レッスンを受講することができます。レッスンは週1回30分（声楽は20分）。積極的な学びが視野を広げます。なかでも本学の副科指揮は、優れた指揮者を多く輩出していることで知られています。専攻実技同様の充実した教育が、新たな可能性を拓きます。

鍛 究

超

超える

他者の奏でる「音」に耳を澄まし、自己の「音」と呼応させ音楽をつくり上げるアンサンブル。楽譜を深く読み解き、音程やアーティキュレーション、リズムなどを緻密に合わせ、あるいは主張し、音楽を形づくります。本学創始者の一人、

斎藤秀雄先生により始められた「桐朋学園オーケストラ」に代表される合奏教育は、実技教育と並んで桐朋の学びの軸となっています。仲間とともにつくる音楽は、個人の表現の枠を超え、かけがえない音楽体験となります。



伝統のオーケストラ教育で合奏技術を磨く

【オーケストラ】

オーケストラの授業では、専攻別アンサンブルで合奏技術の基本やオーケストラ・スタディなどを学んだのち、フルオーケストラによる実習に進み、基礎から段階的に修得します。これらの合奏教育は、高校から大学まで一貫したカリキュラムに沿って行われます。これまでに国内外のオーケストラに在籍する楽団員を多数輩出しています。



仲間とともに音楽をつくり上げる

【室内楽・二重奏ソナタ】

履修希望者は自主的にグループを編成し、年度初めに申請します。3人以上であれば楽器編成に特別な制約はなく、室内楽と2台ピアノでは高校生と大学生がグループを組むこともできます。年間10回以上のレッスンを経て年度末試験を受け、成績優秀なグループは翌年度の春に開催される室内楽演奏会に出演することができます。



桐朋の学び

桐朋の教育は、個の尊重が大きな特色です。
のびやかな学習環境が、個性の発露と個人の
自立を促します。音楽への情熱を支えに日々
模索し、自ら道を切り拓き、目指す音楽を創り
出してゆく強い精神力を育みます。

ピアノ専攻	16	指揮専攻	23
弦楽器専攻	17	作曲専攻	24
管楽器専攻	18	音楽学専攻	25
打楽器専攻	19	カリキュラム	26
ハープ専攻	20	指導陣	28
古楽器専攻	21	特別レッスン	32
声楽専攻	22		

ピアノ専攻

Piano Course



国際的に活躍するピアニストを数多く輩出しているピアノ専攻。ソロはもちろん、室内楽や伴奏などの様々な演奏形態を、レッスンや授業を通じて体系的に学ぶことができます。アンサンブルの機会が豊富にあることも魅力のひとつ。高校生から大学院生まで、個性ある仲間たちと楽しみながらも妥協せずに音楽をつくっていくことは、何にも

まさる大きな喜びです。また、海外の著名な音楽家による特別レッスンや公開講座、学内外の演奏企画、ソロやコンチェルトのコンペティションなど、多彩なプログラムとチャレンジの場を用意しています。本学での学びを通して、一生音楽を愛し、それを人々に伝えることができる豊かな感性と魅力あるピアニストを育てていきます。

Focus

豊富な演奏の機会で 自分に相応しいレパートリーを確立

「桐朋 木の香りコンサート」や学内のコンペティションなど、多くの演奏機会に恵まれています。また、年2回の試験課題は、様々な時代や様式の作品を網羅。ピアノ協奏曲も含めた多様な楽曲を学ぶことで、膨大なピアノ作品の中から自分に相応しいレパートリーを確立できるよう工夫されています。

弦楽器専攻

Stringed Instrument Course

〈ヴァイオリン/ヴィオラ/チェロ/コントラバス〉



弦楽器専攻では、自由で開かれた校風のもと、個性を大切に伸ばす教育を実践しています。経験豊富な指導陣が個々の可能性を導き出し、スケールの大きな演奏家へと育てます。さらに、国内外の音楽家を招聘して行うマスタークラスをはじめ、貴重な学びの場を多数用意。室内楽やオーケストラなど、アンサンブルのカリキュラムも充実し

ています。アンサンブルの授業やレッスンでは、合奏のための技術や奏法、リハーサルの方法などを基礎から指導。学年や専攻の異なる仲間とともに一つひとつ音を創り上げてゆく時間は、豊かな表現力を養うための糧となります。それは同時に、助け合い、協力し合う仲間同士の一体感が生み出される特別な経験となるでしょう。

Focus

実践的なプログラムで オーケストラを基礎から学ぶ

高校と大学のいずれから入学しても、初めに楽器別の合奏でアンサンブルの基礎を学びます。高校3年次から大学までの5年間、または大学からの4年間は、高大混成のオーケストラで合奏の技術を基礎から修得。基本的なレパートリーから高難度の作品まで、著名な指揮者のもとで段階的に実習します。

管楽器専攻

Wind Instrument Course

〈フルート／オーボエ／クラリネット／ファゴット／サクソフォン／ホルン／トランペット／トロンボーン／ユーフォニウム／チューバ〉



打楽器専攻

Percussion Instrument Course

〈パーカッション／マリンバ〉



高校から大学までの期間は、身体的にも精神的にも大きく成長する大切な時期。それは管楽器を学ぶ上でも重要な意味を持ちます。実技指導では、個性を尊重するとともに、演奏の基礎となるソルフェージュを重視。徹底した基礎教育は、技術を向上させるだけでなく音楽そのものへの理解を深め、自ら探究する力を育みます。さらに、

オーケストラをはじめ、木管・金管五重奏など各種編成のアンサンブルのための講座を用意。多様な形態のアンサンブルを効率よく学び、学内外で行われるコンサートへの出演によって、管楽器奏者にとって大切な合奏の技術を実践的に修得します。音楽家として多くの経験を重ねてきた指導陣が、学生たちの表現への意欲を引き出します。

Focus

多彩なアンサンブルを学び、 楽器への理解を深める

編成や規模の違うアンサンブルを学ぶことで各楽器の特性を理解し、編成ごとに異なる演奏や表現方法を身につけます。プロオーケストラさながらの意欲的なプログラムで年間7～8回のコンサートを行い、一流の指揮者やソリストと共演。全専攻生がオーケストラの一員としての演奏を経験します。

打楽器の種類や形態は多種多様で、音楽表現も多彩です。打楽器奏者は、高い専門性と同時に広範な知識や経験を求められます。このため本学では、パーカッションとマリンバのどちらかを主専攻として選択しながら、もう一方も学ぶことのできるダブルレッスン制度を設けています。実技レッスンでは一人ひとりと綿密なコミュニケーション

を取り合い、きめ細かい指導で演奏に必要な技術とセンスを基礎から養います。また、オーケストラや室内楽などアンサンブルの機会も豊富で、合奏について基本から体系的に学習します。世界中から学びに訪れる留学生も多く、文化的・人間的な交流の輪が広がることも特徴のひとつであり、音楽界での多岐にわたる活躍が期待されます。

Focus

アンサンブルの経験が 奏者としての音をつくりだす

パーカッションとマリンバ、2種類のアンサンブルのためのカリキュラムを設置。アンサンブルを通して耳を鍛え、学生・生徒たちの技術力と音楽性の向上を図ります。また、作曲など他専攻生と積極的に交流し、新作初演などの経験を通じて打楽器奏者としての可能性を広げていきます。

ハープ専攻

Harp Course

古楽器専攻

Period-Instrument Course

〈バロック・ヴァイオリン／バロック・チェロ／バロック・オーボエ／フラウト・トラヴェルソ／リコーダー／ヴィオラ・ダ・ガンバ／チェンバロ〉



ハープの歴史は古く、その音色は何世紀も前から人々を魅了してきました。本学では、日本におけるハープ奏者の活動の場を広げ、その可能性を切り拓いてきた第一人者の指導により、正しい演奏様式とテクニックを学ぶことができます。また、オーケストラや室内楽におけるハープの重要な役割に注目し、ソリストだけでなく、アンサン

ブル奏者の育成にも力を入れています。公開レッスン形式で行われるアンサンブルやオーケストラ・スタジオの授業では、ハープのための重要なレパートリーを取り上げ、優れたアンサンブル奏者として活躍するために必要な技術と知識を基礎から教えます。ハープ奏者に必要な要素を体系的に指導し、次代を担う演奏家として送り出します。

Focus

他楽器との共演が 演奏力・表現力を高める

毎年12月に開催する「ハープアンサンブルの夕べ」は、複数のハープを使ったハープ同士のアンサンブルと、他楽器とのアンサンブル作品で構成するコンサート。専攻生全員が出演します。専攻生が互いに成長を確認する機会であると同時に、他専攻生と共演し交流を深める貴重な機会でもあります。

20世紀中頃以降、音楽作品を演奏する際にそれが作曲された時代の楽器を使用した解釈が試みられてきました。こうした解釈で使用される楽器は一般的に古楽器（ペリオド楽器）と呼ばれますが、本専攻はこの古楽器を専門的に学びます。レッスンやアンサンブルの授業によって演奏技術を高めるだけでなく、主として17世紀、18世紀の

楽器や演奏法、記譜法などの歴史について研究を深めながら、当時の音楽を現代に魅了させるための方法を修得していきます。近年、古楽器による演奏は19世紀以降のレパートリーも視野に入れるようになり、モダン楽器の演奏家が古楽器演奏の方法を取り入れることもあります。古楽器専攻の重要性はさらに高まっていくでしょう。

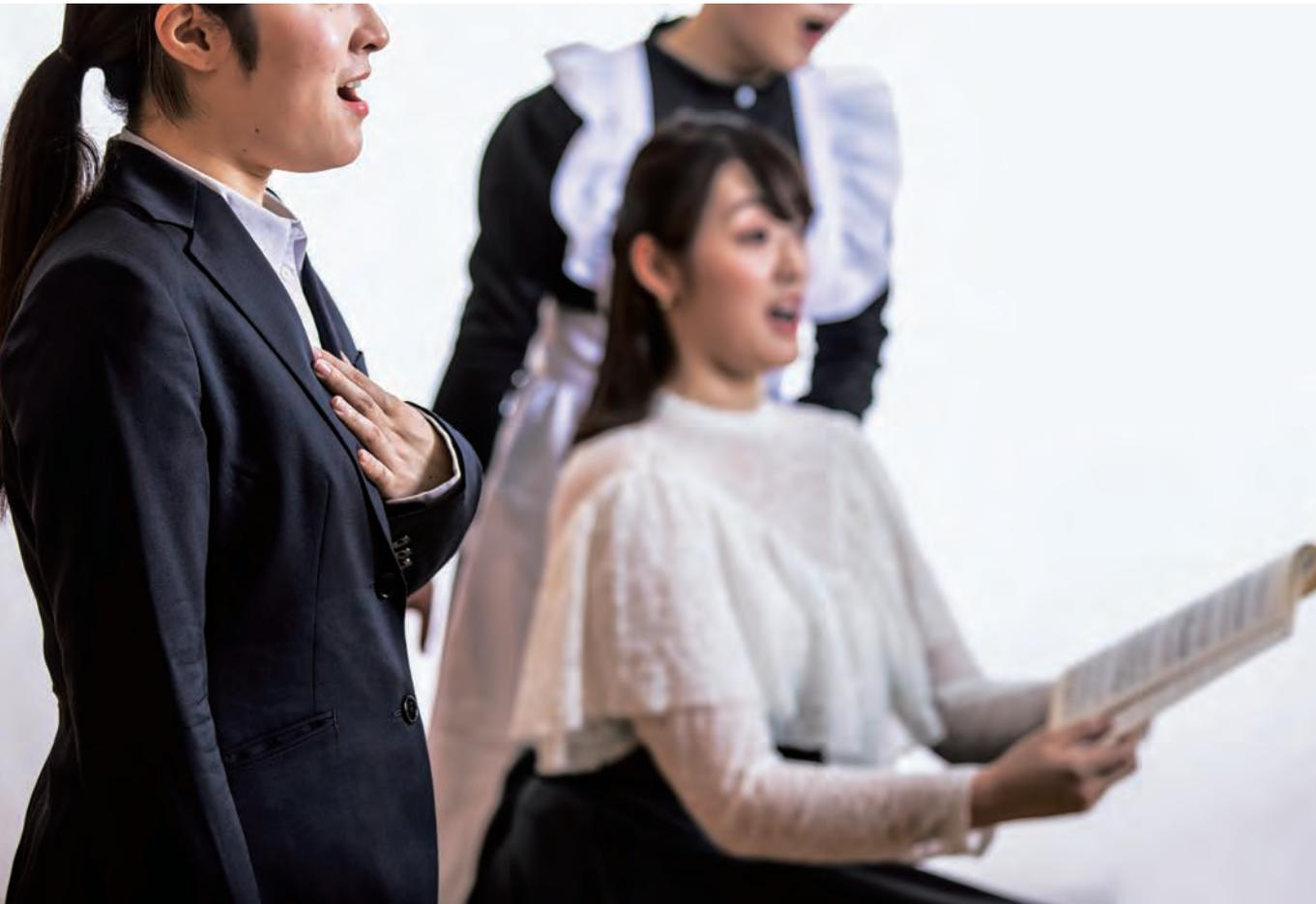
Focus

様々なタイプのチェンバロにふれ、 探究に合わせて学習する

チェンバロ、クラヴィコード、フォルテピアノなどの鍵盤楽器や、バロック・ヴァイオリンやヴィオラ・ダ・ガンバ、フラウト・トラヴェルソやバロック・オーボエなどの多様な楽器の演奏を通して、楽器の構造、歴史、ピッチ、音律などその時代ならではの音楽習慣を学習し、多角的な考え方を身につけます。

声楽専攻

Vocal Music Course



自らの身体そのものが楽器となる声楽。正確な発声法と呼吸法、充実したソルフェージュや語学教育が、声楽家としての基礎を形づくります。高大一貫の専門教育で音楽家に必要な知識と教養を身につけ、高い能力と個性を併せ持つ優れた演奏家へと成長する力を蓄えます。オペラクラスでは、歌唱や演技はもちろん、舞台をつくり上げ

る工程全般を学びます。現役のオペラ歌手が助演で参加することもあり、プロの役作りや本番までの準備の方法などを間近に見ることができます。高度なアンサンブルや合唱の授業、海外からの招聘講師による公開レッスンなども充実。器楽専攻生との交流は、音楽を愛する心を育むだけでなく、一生の宝となるでしょう。

Focus

5カ国語によるディクショで正しい発音を学ぶ

言葉の発音法を学ぶディクシヨンの授業が充実。イタリア語、ドイツ語、フランス語、日本語、ロシア語によるカリキュラムを用意。歌曲などを教材に、言語に合わせた正しい発音や発声法など、歌うための基礎的な技術を身につけます。様々な言語にふれることで、自分に合う分野や方向性を模索していきます。

指揮専攻

Conducting Course



指揮者は、演奏の現場で起こる様々な問題を円滑に解決する高い能力が求められます。指揮者は音を出しません。しかし、音楽への理解を深め、現場の奏者達と良好な関係を築くためには、ソルフェージュや音楽理論などの基礎を徹底して身につけ、ピアノや副科実技のレッスンなどで楽器演奏にも習熟することが不可欠です。優れた

演奏家でもある器楽専攻生たちとの交流は、指揮者には欠かせないコミュニケーション能力や積極性を養います。本学創始者の一人、斎藤秀雄先生から始まる桐朋の指揮の伝統を受け継ぎ、発展させてきた指導陣による教育と、オーケストラの生の音に日常的にふれることのできる環境は、指揮を学ぶ上で大きな魅力となります。

Focus

演奏会のリハーサルを見学し、生きた音楽を学ぶ

オーケストラなどのリハーサルを見学することは、著名な指揮者や演奏家たちのリハーサルでのコミュニケーションや練習プロセスを間近で見て学習する良い機会となります。特に、オペラを一からつくり上げる現場の空気を体感することは、将来、指揮者として活躍するための貴重な経験となるでしょう。

作曲専攻

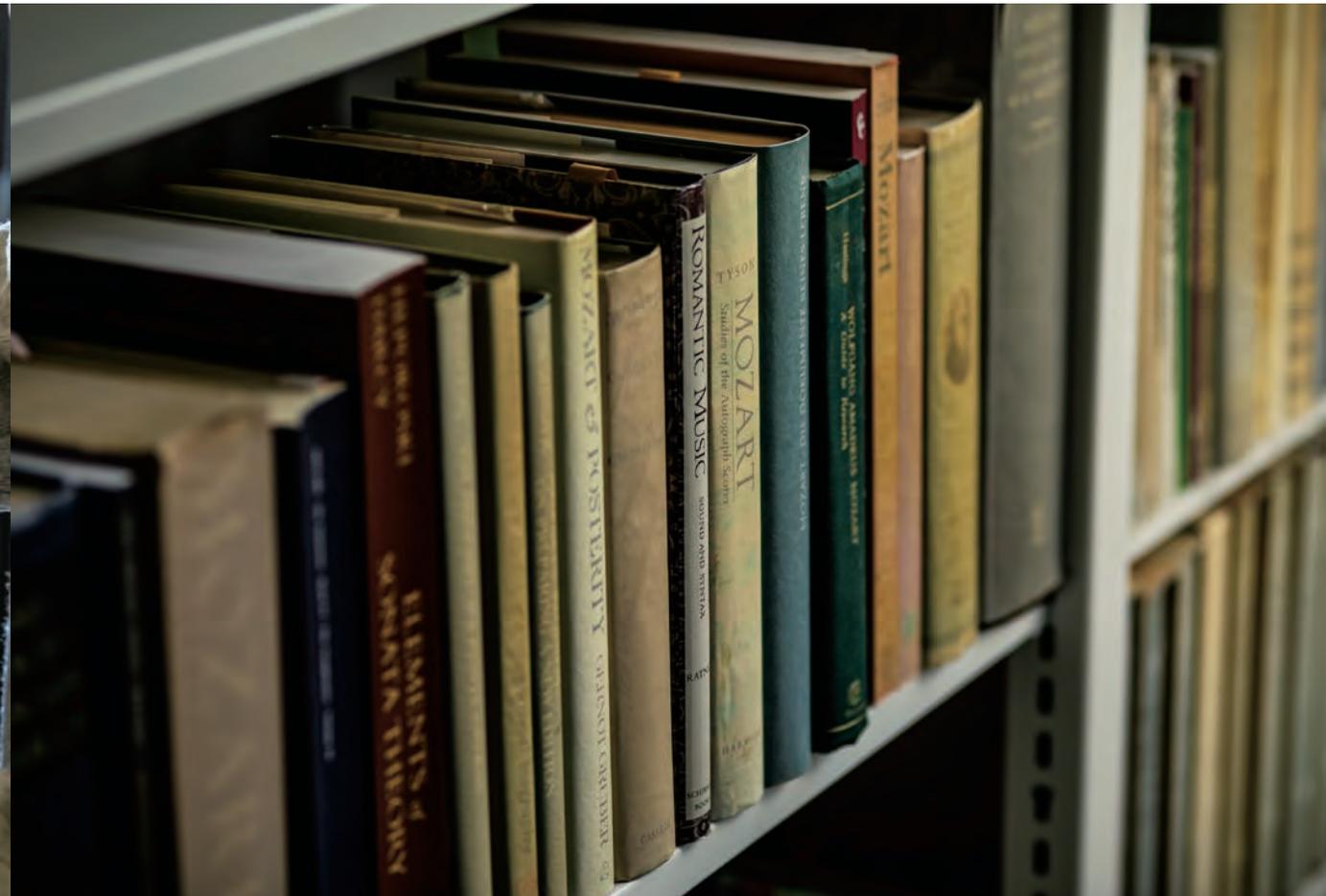
Composition Course

〈創作芸術／編作芸術〉



音楽学専攻

Musicology Course



作曲専攻では、しっかりした基礎の修得と、創作活動の実践につながる教育を目指しています。高校・大学ともに、一流の指導陣による実技レッスンと、音楽理論や作曲法のクラスを用意。基礎から応用まで段階的に指導します。毎年開催する作曲作品展、国内外の著名な音楽家を招いての公開講座や集中講義など、発表、研究の機会

も数多く提供。また、演奏家とのコラボレーションにより、楽器と奏法についてのバラエティに富んだ探究の場を豊富に設けています。大学では、創作芸術と編作芸術とに専攻が分かれ、創作芸術では和声・対位法・管弦楽法・コンピュータ音楽実習など、編作芸術では合唱曲・吹奏楽曲・管弦楽法などのカテゴリを設定しています。

Focus

試演会を通じて多くの個性と交流し、友情を育む

本学には、現代音楽に関心があり、現代作品の演奏に積極的な楽器専攻生が数多くいます。作曲専攻生と楽器専攻生との距離が近く、学生同士で試演会を企画するなど、高次の区分なく自作品を音にする機会に恵まれています。様々な専攻の友人たちは、卒業後も助け合える大切な仲間となります。

「音楽学」とは音楽に関する学問の総称。本専攻では、学生の音楽的素養を生かしながら、西洋音楽史、民族音楽学、音楽理論、音楽美学、ポピュラー音楽学など、様々な角度から音楽について考えます。実技も頑張りながら学問にふれることができるのが、桐朋の特徴。指導にあたる専任教員は、著書や論文の執筆、国内外での発表を毎

年行っており、音楽史を掘り下げる「専攻演習」、外国語の文献を読み解く「楽書講読」など、多彩なプログラムを用意しています。教員と学生との自由で活発な議論によって、新しい世界が開かれることでしょう。国内有数の資料数を誇る図書館との連携によって「聴く勉強」が充実していることも、大きな特色です。

Focus

自由で開かれた学習環境のもと、自身の音楽学を深める

音楽学専攻の必修科目は少人数のゼミ形式。一人ひとりにきめ細かく対応し、卒業論文では担当教員が毎週1時間の指導を行います。少人数のため演習形式の授業が多く、研究発表の機会も豊富。教員と学生の距離が近く、対等に議論を交わすことのできるレベルな雰囲気も特徴のひとつです。

カリキュラム

本学は、1コマ90分という時間割設定と、授業開講期間、試験期間、文化祭などの年間予定を高大で共有することで、高校から大学までの一貫性を重視したカリキュラム編成を実現しています。学生・生徒の能動的な学びを引き出す豊富な選択科目、学習効果を高めるレベル別少人数授業なども大きな特色です。ここでは、そうした特色を生かした科目を抜粋しています。カリキュラム全般については本学ホームページに掲載しています。

詳細はWebへ



高校 大学

専門科目

ソルフェージュ

必修科目。高大ともにグレード別少人数編成によるクラス授業を行っています。個人のグレードは所定の試験を経て一定期間ごとに更新され、常にレベルに合った指導を受けることができます。大学中級以上は多彩な講座の中から自由に選択することができます。

和声

高校からの入学者は大学1年次までの4年間必修、大学からの入学者は3年次までの3年間必修です。大学からの入学者は和声既習者と未習者とでクラスを分けるため、無理なく確実に学習できます。和声の修得が、音楽理論や演奏法などへと発展します。

音楽理論・音楽史

音楽理論は、高校では音楽理論基礎、大学では音楽理論概論で楽典などを学んだ後、楽曲分析などへと展開します。音楽史は、高校では2、3年次に、大学からの入学者は1年次に概説を学んだ後、より専門的な視点で「音楽を考える力」を育みます。

語学科目

英語は高校3年間必修です。高校2年次からは独・仏いずれかを履修することができ、3年次で取得した独・仏の単位は桐朋学園大学の単位として認定されます（高大連携科目）。大学では英・独・仏・伊の各国語から1カ国語以上を選択します。

室内楽・二重奏ソナタ（2台ピアノを含む）

自由選択科目。室内楽や二重奏ソナタのレッスンを通年で受けることができます。年次による編成の制限がある以外にメンバー構成の制約はなく、高校生と大学生でグループを編成することも可能です。指導教員を2名まで希望することができます。

専攻別アンサンブル

弦・管・打・ハープ・古楽器・声楽専攻生を対象とする授業。対象年次は専攻ごとに異なります。楽器専攻生は専攻楽器同士での合奏、または異なる楽器との合奏を通じて、声楽専攻生は合唱を通じて、アンサンブルの技術と表現を基礎から学びます。

オーケストラ

高校3年次の弦楽器専門生と大学の弦・管・打・ハープ専攻生を対象とする通年授業。高校生と大学生とでひとつのオーケストラを編成し、指揮者のもとでのオーケストラ演奏を学びます。その後、演奏会ごとに設置されるオーケストラでさらに経験を積みます。

一般教養科目

特色ある講座の中から、学生・生徒が自身の興味や必要に応じて選択し、履修することができます。人文科学、社会科学、自然科学、身体活動の各分野において、音楽家をめぐる今日的な課題について多角的に考えるための講座を設置しています。

高校からの入学者

大学からの入学者

共通

	桐朋女子高等学校 音楽科 (男女共学)			桐朋学園大学 音楽学部			
	1年次	2年次	3年次	1年次	2年次	3年次	4年次
専門科目	ソルフェージュ						
	和声Ⅰ	和声Ⅱ	和声Ⅲ	応用和声Ⅱ			
				和声法Ⅰ	和声法Ⅱ	応用和声Ⅰ	
	音楽理論基礎	音楽理論応用		音楽理論(分析)			
				音楽理論概論		※和声法Ⅱの単位取得者	
		音楽史					
				音楽史概説			
	専攻実技						
	副科実技						
				副専攻			
室内楽	室内楽・2台ピアノ		室内楽・二重奏ソナタ (2台ピアノ含む)				
専攻別アンサンブル							
			オーケストラ				
語学科目	国語			日本語表現			
	英語						
		ドイツ語/フランス語(初級)		ドイツ語/フランス語(中級)			
				ドイツ語/フランス語(初級)			
				イタリア語			

Teacher-training course

▶ 教職課程

卒業単位の他、教職課程に定められた単位を修得することによって、右記の教員免許状を取得できます。教員免許状を取得するためには、教職に関する科目の他、学外での介護等体験や教育実習などの実習を含む単位が必要となります。本学学生は積極的に教職課程を履修しており、約7割の学生が卒業時に教員免許状を取得しています。

中学校教諭一種免許状(教科:音楽)

高等学校教諭一種免許状(教科:音楽)

※大学のみ

指導陣

2022年度

学長	辰巳 明子
理事	長瀬 浩平
学部長	中井 恒仁
研究科長	中井 恒仁
教務部長	姫野 雅子
学生部長	杵鞭 広美
図書館長	沼野 雄司
高校部長	合田 香
音楽教室部長	久保田 巧



これからの10年のために

辰巳 明子 学長

桐朋が失ってはいけないもの、変わっていかねばならない事など、10年先の理想の姿のために目標を明確にしてゆかなければなりません。私たちは、音楽を通して社会に貢献できる音楽家を送り出したいと願っています。

実技等指導陣

※ 教員名の右上の印は以下の職名等を表示します。
 * 大学専任教員 ★ 高校教諭 ◇ 特命教授 ● 特任教授 □ 特別招聘教授 ○ 特任講師
 ※ 副科として掲載している教員は、当該専攻の副科実技のみを担当します。

ピアノ

中井 恒仁 * (主任)	吉村 真代 *	田部 京子 ●	金子 恵	高橋 多佳子	三原 末紗子	【副科ピアノ】
新井 博江 *	上野 久子 ◇	玉置 善己 ●	川島 伸達	竹内 啓子	三輪 郁	小澤 英世
清水 和音 *	海老 彰子 ◇	村上 弦一郎 ●	河村 晋吾	外山 啓介	山崎 牧子	小田 裕之
仲道 郁代 *	岡本 美智子 ◇	若林 顕 ●	木村 徹	鶴園 紫磯子	楊 麗貞	垣内 敦
朴 久玲 *	山田 富士子 ◇	青柳 晋	後上 聡司	奈良場 恒美	吉武 優	佐藤 勝重
廻 由美子 *	Pascal Devoyon ●	入江 一雄	齋木 隆	沼沢 淑音	渡邊 康雄	中川 賢一
阿部 美果子 *	伊藤 恵 ●	江澤 聖子	佐藤 彦大	練木 繁夫		中川 朋子
有吉 亮治 *	小森谷 泉 ●	大西 真由子	清水 由香里	広瀬 康		松谷 園子
今井 彩子 *	須田 眞美子 ●	大伏 啓太	高田 匡隆	三上 桂子		宮木 麻衣

弦楽器

▼ ヴァイオリン・ヴィオラ	篠崎 功子 ◇	堀 正文 ●	戸田 弥生	山崎 伸子 ●	▼ コントラバス	【副科ヴァイオリン】
久保田 巧 * (主任)	庄司 紗矢香 ◇	伊藤 亮太郎	豊嶋 泰嗣	音川 健二	市川 雅典 *	梅津 美葉
景山 誠治 *	徳永 二男 ◇	木野 雅之	水谷 晃	刈田 雅治	新井 綾香	
加藤 知子 *	原田 幸一郎 ◇	久保 良治	山口 裕之	菅野 博文	石川 滋	
辰巳 明子 *	池田 菊衛 ●	佐々木 亮	▼ チェロ	菊地 知也	稲川 永示	
豊田 弓乃 *	漆原 啓子 ●	篠崎 友美	長谷川 陽子 *	木越 洋	星 秀樹	
神谷 美千子 *	惠藤 久美子 ●	篠崎 史紀	倉田 澄子 ◇	北本 秀樹	本間 達朗	
田中 晶子 *	清水 高師 ●	清水 醍輝	堤 剛 ◇	銅銀 久弥	渡邊 章成	
石井 志都子 ◇	竹澤 恭子 ●	鈴木 康浩	上村 昇 ●	古川 展生		
磯村 和英 ◇	藤原 浜雄 ●	店村 眞積	毛利 伯郎 ●	松波 恵子		

管楽器

▼ フルーツ	▼ オーボエ	▼ クラリネット	吉野 亜希菜	▼ サクソフォン	▼ トランペット	▼ ユーフォニウム
神田 寛明 *	嶋崎 耕三 *	亀井 良信 *	▼ ファゴット	武藤 賢一郎 ●	長谷川 潤 *	佐藤 采香
白尾 彰 ●	広田 智之 ●	勝山 大輔	岡本 正之 ●	小山 弦太郎	田中 敏雄	▼ テューバ
倉田 優 ○	浦 丈彦	四戸 世紀	井上 俊次	▼ ホルン	佛坂 咲千生	久保 和憲
泉 真由	小野寺 彩子	野田 祐介	佐藤 由起	上原 宏 * (主任)	山本 英司	渡辺 功
梶川 真歩	高橋 舞	芳賀 史徳	武井 俊樹	猶井 正幸 ●	▼ トロンボーン	
小池 郁江	最上 峰行	林 裕子	福井 弘康	今井 仁志	神谷 敏 ●	柴田 晃
高野 成之		藤井 洋子	依田 晃宣	吉永 雅人	桑田 晃	古賀 光
		三界 秀実				

打楽器

▼ パーカッション	▼ マリンバ	▼ パーカッション・マリンバ
小島 光 ●	安倍 圭子 ◇	安江 佐和子 ○
近藤 高顕 ○	中村 友子	
渡邊 壮	藤井 里佳	

ハープ

篠崎 史子 ◇	井上 美江子	篠崎 和子
---------	--------	-------

古楽器

▼ バロック・ヴァイオリン	▼ バロック・チェロ	▼ バロック・オーボエ	▼ リコーダー	▼ チェンバロ	【副科チェンバロ】
寺神戸 亮 ●	Emmanuel Girard ●	桐山 温子	古橋 潤一	有田 千代子 ●	上尾 直毅
戸田 薫	酒井 淳 ●	▼ フラウト・トラヴェルソ	▼ ヴィオラ・ダ・ガンバ	上尾 直毅	【副科オルガン】
		有田 正広 ●	Emmanuel Girard ●	渡邊 順生	水野 均

声楽

大橋 ゆり * (主任)	藤川 泰彰 ★	篠原 百合乃	塚田 裕之	村上 明子	【副科声楽】
腰越 満美 *	落合 美和子	園田 真木子	友清 崇	森 麻季	北村 典子
鈴木 准 *	加藤 浩子	田島 巨祥	長尾 康世	安井 陽子	
宮本 益光 *	駒井 ゆり子	谷 茂樹	牧川 修一	嘉目 真木子	
大島 幾雄 ◇	里中 トヨコ	丹藤 麻砂美	松井 康司	与那城 敬	

指揮

沼尻 竜典 *	小澤 征爾	篠崎 靖男	村上 寿昭	吉田 行地
---------	-------	-------	-------	-------

作曲

法倉 雅紀 * (主任)	石島 正博	原田 敬子	藤井 一興 ●	飯野 明日香	【副科作曲】	平井 正志
金子 仁美 *	大家 百子	三瀬 和朗 ◇	栗 孝之 ●	石岡 久乃	井上 渚	松波 匠太郎
鈴木 輝昭 *	香月 修	▼ 作曲法演習	伊藤 康英	石島 正博	遠藤 真理子	渡部 真理子
土田 英介 *	加藤 真一郎	金子 仁美 *	新垣 隆	加藤 真一郎	金田 望	
森山 智宏 *	久木山 直	鈴木 輝昭 *	村上 寿昭	竹内 啓子	北爪 裕道	
鷹羽 弘晃 ★	清水 篤	土田 英介 *	▼ 作曲理論ピアノ	林 達也	清水 篤	
正門 憲也 ★	鈴木 純明	法倉 雅紀 *	法倉 雅紀 *	三輪 郁	田口 真理子	
池田 哲美	西岡 龍彦	野平 一郎 ●	土田 英介 *	吉田 真穂	波立 裕矢	

音楽学

沼野 雄司 * (主任)	西原 稔 □
--------------	--------

大学 | 専門科目

ソルフェージュ

森山 智宏 * (主任)	鷹羽 弘晃 ☆	上田 真樹	沢木 良子	十川 菜穂	中村 理奈子	松井 裕紀子
大橋 浩子 *	安西 房代	加藤 真一郎	塩崎 美幸	田口 真理子	長谷川 由美子	柳川 瑞季
法倉 雅紀 *	飯塚 奈緒美	加藤 千春	塩谷 尚子	田中 やよい	百武 眞弓	山口 恭子
五十嵐 琴未 ☆	伊倉 由紀子	川端 友紀子	清水 篤	塚田 眞理	船橋 泉乃	渡部 真理子
鈴木 しのぶ ☆	井澤 岳野	久保田 千裕	杉山 智恵子	築田 佳奈	保科かおり	

音楽学・音楽史

沼野 雄司 * (主任)	今井 千絵	葛西 周	佐藤 康太	西原 稔 ◯	前原 恵美	米田 かおり
藤村 晶子 ☆	上田 泰史	川本 聡胤	神保 夏子	沼口 隆	増野 亜子	
池原 舞	大津 聡	佐々木 美奈子	永井 玉藻	伏木 香織	山岸 佳愛	

和声法・音楽理論・芸術音楽

法倉 雅紀 * (主任)	森山 智宏 *	Yohanan Chendler	井上 渚	久木山 直	下山 静香	松波 匠太郎
金子 仁美 *	梅津 時比古 ◯	池田 哲美	魚返 明未	工藤 真希子	新垣 隆	村上 寿昭
鈴木 輝昭 *	藤井 一興 ◯	石島 正博	遠藤 真理子	今野 哲也	林 達也	山中 千尋
土田 英介 *	菜 孝之 ◯	伊藤 康英	加藤 真一郎	篠田 昌伸	引地 誠	渡部 真理子

その他専門科目

▼ピアノ伴奏法	▼ピアノ・リテラチュア	▼オペラクラス	福永 一博	▼音の物理学	▼弦合奏
藤井 一興 ◯	楠原 祥子 ◯	大橋 ゆり *	▼オペレッタ・ミュージカル演習	越智 景子	市川 雅典 *
高古 晋一	▼ピアノ実技指導法	腰越 満美 *	鷗木 絵里	小野 順貴	神谷 美千子 *
▼伴奏クラス	玉置 善己 ◯	宮本 益光 *	▼指揮法	▼オーケストラ	田中 晶子 *
小田 裕之	▼音楽ディクシオン	▼声楽アンサンブル・合唱	高山 美佳	沼尻 竜典 *	稲川 永示
松谷 園子	大橋 ゆり *	宮本 益光 *	▼音楽療法の理論と技法	合田 香 *	菊地 知也
▼ピアノ演奏法	宮本 益光 *	大津 康平	▼室内楽講座	▼音楽療法の理論と技法	藤村 俊介
廻 由美子 *	藤川 泰彰 ☆	加藤 洋朗	藤井 一興 ◯	▼室内楽講座	亀井 良信 *
有吉 亮治 *	駒井 ゆり子	塚田 裕之	他	▼室内楽講座	他
今井 彩子 *	渡部 智也	友清 崇	▼音の生理学	▼室内楽講座	竹田 数章
河村 晋吾					

大学 | 語学科目・一般教養科目・教職課程科目

語学科目

▼英語	奥野 元子	矢向 寛子	十川 菜穂	Stefan Säbel ◯	杉山 真佑美	鮎澤 由香理
長瀬 浩平 *	鈴木 希	安野 直	萩原 さがみ	Sabina Muriale	武藤 陽子	
三浦 大輔 ☆	泉類 尚貴	▼フランス語	山上 昌子	猪狩 弘美	吉村 暁子	
Jeremy Fulton ◯	高山 真梨子	加藤 三和	山邑 久仁子	大野 雄三	▼イタリア語	
磯西 翔子	田中 由香	小森谷 朋子	▼ドイツ語	織田 晶子	Vincenzo Spinuso ◯	
大島 路子	間瀬 裕子	佐藤 ローラ	玉川 裕子 *	川名 真矢	Rufo Costanza	

一般教養科目

姫野 雅子 * (主任)	西野入 篤男 ☆	江川 純一	木下 頌子	千田 実	秦 江里奈
杵鞭 広美 *	浅野 充	遠藤 記代子	小松 志朗	富澤 萌未	原口 佳誠
玉川 裕子 *	阿部 史佳	大垣 美保子	小宮 暖	長井 淳	水野 泰尚
長瀬 浩平 *	伊澤 英紀	加藤 三和	里岡 純子	中山 夏織	南 孝典
荒巻 由紀 ☆	内田 裕太	金澤 宏	須関 裕子	野上 圭太	

教職課程科目

杵鞭 広美 * (主任)	河原 勇人 ◯	風見 章	竹下 善博	宮城 哲
宮本 益光 *	石坂 浩毅	狩野 浩二	田中 正雄	山本 剛

高校 | 専門科目

ソルフェージュ

五十嵐 琴未 ☆	大橋 浩子 *	加藤 真一郎	田口 真理子	中村 理奈子	渡部 真理子
鈴木 しのぶ ☆	森山 智宏 *	加藤 千春	田中 やよい	百武 眞弓	
鷹羽 弘晃 ☆	伊倉 由紀子	塩崎 美幸	塚田 眞理	船橋 泉乃	

ピアノ初見

五十嵐 琴未 ☆	鈴木 しのぶ ☆	鷹羽 弘晃 ☆	大伏 啓太
----------	----------	---------	-------

音楽史

藤村 晶子 ☆	鷹羽 弘晃 ☆	土田 英介 *	石濱 加夏子	桐山 温子	引地 誠
米田 かおり	藤村 晶子 ☆	森山 智宏 *	井上 渚	小島 有利子	松波 匠太郎
	正門 憲也 ☆	石島 正博	加藤 真一郎	下田 幸二	渡部 真理子

音楽理論

弦楽アンサンブル・弦楽オーケストラ

市川 雅典 *	長谷川 陽子 *	清水 醒輝	藤川 泰彰 ☆	篠原 百合乃	小澤 英世
神谷 美千子 *	稲川 永示		大橋 ゆり *	塚田 裕之	佐藤 勝重
田中 晶子 *	景山 裕子				

独唱・合唱

室内楽(ピアノ)

高校 | 普通科目

外国語

▼英語	磯西 翔子	高岡 朱美	間瀬 裕子	▼ドイツ語	杉山 真佑美	▼フランス語
三浦 大輔 ☆	末松 紀子	高山 真梨子	宮崎 由美子	玉川 裕子 *	川名 真矢	小森谷 朋子
Damian Macintosh ◯	鈴木 希	日比 使門				山邑 久仁子

他科目

▼国語	▼地理歴史・公民	福川 幹夫	石井 眞紀子	▼家庭科	▼保健体育	福田 大和子
西野入 篤男 ☆	浅野 充	▼数学・理科・情報	上野 国子	川島 しずる	荒巻 由紀 ☆	
内田 裕太	櫻井 絵美夏	▼数学・理科・情報	土田 智美	矢野 祐子	伊澤 英紀	
千田 実	笹村 剛	姫野 雅子 *	増田 翔也		須関 裕子	

大学院 | 専門科目・関連科目・総合科目

(修士課程・博士後期課程)

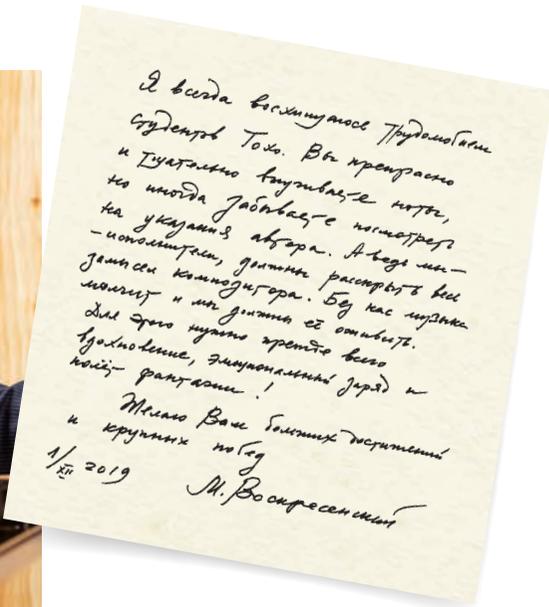
ピアノ

▼コレペティツィオン	▼声楽特殊研究・歌曲・台本研究	加藤 浩子	▼作品分析・創作演習	石島 正博	▼文献・原書購読	西原 稔
田島 亘祥	大橋 ゆり	岸本 力	金子 仁美	加藤 真一郎	沼野 雄司	
▼歌曲伴奏	腰越 満美	村上 寿昭	鈴木 輝昭	藤井 一興	伊東 辰彦	
▼器楽特殊研究	宮本 益光		土田 英介	菜 孝之	大津 聡	
武田 美和子	太田 朋子		法倉 雅紀		佐藤 康太	
			池田 哲美		永井 玉藻	

特別レッスン

本学の教育の成果は海外にも広く知られ、本学の学生や教育システムに関心を持つ多くの演奏家や指導者が世界中から来校し、特別レッスンや公開講座を行っています。国際色豊かなレッスンは学生の視野を広げ、世界の舞台上で活躍する音楽家を育成します。

詳細はWebへ

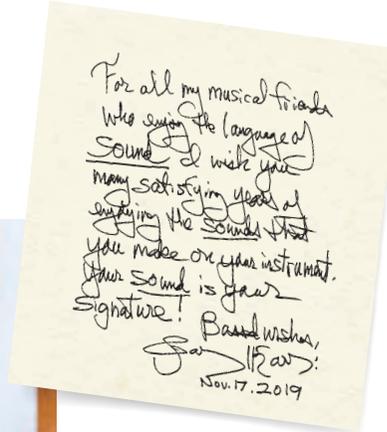


いつも私は、桐朋生のみなさんが努力する姿に感動しています。素晴らしく、そして詳細に音を暗譜していますが、時々、作曲家が記した表記を読み忘れてることがありますね。我々演奏家は、作曲家が記したアイデアすべてを解き明かさねばなりません。私達なしでは音楽は沈黙しており、私達は彼らが残した音楽を生き返らせなければならないのです。そのためにも、インスピレーションと、溢れる感情、飛翔する想像力が必要です。みなさんに、大きな達成と勝利を祈っています！ ミハイル・ヴォスクレセンスキー

コントラバス特別講座

ゲイリー・カー

コントラバス・ソリスト/
ヴィクトリア大学名誉博士



音楽という言葉を楽しむ友人たちへ、楽器から生み出す音を楽しみ、満喫する日々が続くことを願っています。みなさんの生み出す音は、みなさん自身なのです。幸運を祈っています。 ゲイリー・カー

声楽特別レッスン

チャールズ・スペンサー

ウィーン国立音楽大学リート・
オラトリオ科教授



ここで再び、才能に恵まれた学生たちと音楽することは、とても大きな喜びです。チャールズ・スペンサー

伝統ある生きた音楽を学び、教授の熱量を体感

ピアノ特別レッスン

ミハイル・ヴォスクレセンスキー

ピアニスト/チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院教授・ピアノ科長

チャイコフスキー、ラフマニノフ、プロコフィエフ、スクリャービンの時代からのロシア音楽の系譜を継ぐヴォスクレセンスキー先生のレッスンは、現代に息づくロシア音楽の伝統とロシアピアニズム

を直接学ぶことのできる貴重な機会であり、演奏技術とともに先生の時代からのロシア音楽の系譜を継ぐヴォスクレセンスキー先生の深い愛情と情熱をも伝えてくれます。その経験は学生としての学びにとどまらず、将来の活躍に生かされることでしょう。

voice

国際的な感覚で音楽を学び、さらなる成長を

ヨーロッパの歴史や文化にもふれながらご指導くださるので、いつもとは違った発見があります。指導内容や表現の方法も先生ならではのものが多く、作品への理解が深まったり、音の質感が変わったりと、レッスンをきっかけに表現の幅が広がりました。



桐朋学園大学
音楽学部 2年
ピアノ専攻
馬場 彩乃さん



ピアノ特別レッスン・ 公開講座

パスカル・ ロジェ

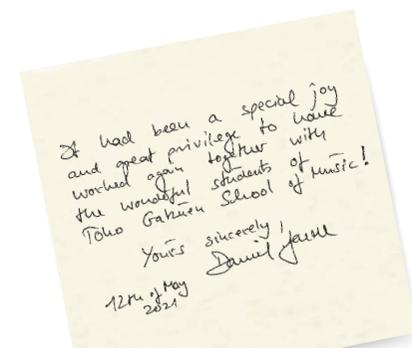
ピアニスト

きらきらと輝く、才能豊かな学生とのマスタークラスを忘れません。パスカル・ロジェ

ヴァイオリン「オンライン」 マスタークラス

ダニエル・ゲーデ

ニュルンベルク音楽大学ヴァイオリン科主任教授/
元ウィーンフィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター



桐朋学園の素晴らしい生徒達とまた一緒に学ぶことができたことは、私にとって限りない喜びで、誠に名誉なことでした！心を込めて。ダニエル・ゲーデ

特別レッスン音楽家一覧

(2017~2021年実績・一部抜粋)

有田 正広 (本学特任教授) / イヴ・アンリ (ピアニスト、パリ国立高等音楽院教授) / 石川 滋 (本学非常勤講師、読売日響ソロ首席奏者) / 出雲 蓉 (舞踏家) / 井上 勢津 (東京音楽大学講師) / 上原 彩子 (ピアニスト) / ミハイル・ヴォスクレセンスキー (モスクワ音楽院教授) / クリストフ・エス (バンベルク交響楽団首席ホルン奏者) / 海老影子 (本学特命教授) / 大畑 浩恵 (舞踊家) / ゲイリー・カー (カナダ・ヴィクトリア大学名誉博士) / 加古 隆 (作曲家、ピアニスト) / オリヴィエ・ギャルドン (ハノーファー音楽・演劇メディア大学教授、パリ地方音楽院教授、ピアニスト) / ダニエル・ゲーデ (ニュルンベルク音楽大学ヴァイオリン科主任教授、元ウィーンフィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター) / 五嶋 みどり (ヴァイオリニスト) / アレクサンダー・コプリン (ピアニスト) / 近藤 謙 (作曲家、日本現代音楽協会理事長) / ヴィルフリード・シュトレーレ (元ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席ヴィオラ奏者) / 白井 光子 (カールスルーエ音楽大学教授) / チャールズ・スペンサー (ウィーン国立音楽大学教授) / 竹澤 恭子 (本学特任教授) / タンブッコ (打楽器アンサンブル) / バスカル・ドヴァイヨン (本学特任教授) / ドロン・ナボン (フェルデンクライス研究センター所長) / 仲道 郁代 (本学教授) / 野平 一郎 (本学特任教授) / 福士 則夫 (作曲家) / ニック・プフェッファー・コロン (ブライトコプフ&ヘルテル社社長) / ヴィレム・ブロンズ (アムステルダム音楽院教授、ピアニスト) / ハルトムート・ヘル (カールスルーエ音楽大学学長) / イェルン・ベルワルツ (ハノーファー音楽大学教授、トラネット奏者) / 堀米 ゆず子 (ヴァイオリニスト、ブリュッセル王立音楽院・マーストリヒト音楽院教授) / ギレアド・ミジョリー (ピアニスト、フライブルク音楽大学主任教授) / 八島 優 (チェンバロ奏者) / アンジェイ・ヤシンスキ (元シオン国際ピアノコンクール審査委員長) / ヤコブ・ロイシュナー (デトモルト音楽大学ピアノ科主任) / バスカル・ロジェ (ピアニスト) / 篤田 実土里 (舞踏家)

※所属・役職はレッスン当時のものです。

Campus life

【桐朋生のキャンパスライフ】

桐朋学園の学生たちは同じ音楽を志す者として、互いに切磋琢磨できる環境の中で、日々練習に励んでいます。自身に合ったスタイルで過ごす学校生活。ここでは、学生のキャンパスライフの一部をご紹介します。

桐朋生の1日 …… 35 コンサートスケジュール… 40
活躍する桐朋生 …… 38 キャンパスガイド …… 42

Our days

桐朋生の1日

個々人に合ったスタイルで、授業や自主練習を通じて音楽の才能を伸ばしています。
桐朋生の朝練習、夜練習、学生会館、3つのキャンパスライフをご紹介します。

Case 1
朝練



早朝の集中力が
私の学びを
高めてくれる

安原 実里さん

桐朋女子高等学校 音楽科（男女共学）2年
ピアノ専門

3歳よりピアノをはじめ
2019年 子供のための音楽教室（小金井教室）入室
新井博江氏に師事
2020年 桐朋女子高等学校 音楽科（男女共学）入学

桐朋学園は校内の至る場所で楽器を演奏している人がいて、本当に音楽に溢れた環境です。私も始業前や授業の合間を利用してピアノの練習をしています。最も集中力が高まるのは頭がスッキリと冴えた早朝ですね。学校生活は忙しくもありますが、同級生と話す時間が良い息抜きにもなっていますし、毎日とても充実しています。

II 時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	音楽史	ソルフェージュ	英語	ドイツ語	体育実技
2	英語	ドイツ語	国語応用	数学 A	ソルフェージュ
3	音楽理論応用	和声	科学と人間生活		現代社会
4			ホームルーム	合唱	
5					

On a Tuesday



探究心が育つ2台ピアノ

相手の音を集中して聴く2台ピアノはソロとは違う勉強ができますし、「この曲も弾いてみたい」という探究心が生まれます。



蓄えた知識が成長に結びつく

ソルフェージュの苦手な部分を和声の知識で補うなど、どの授業も意外な発見や学びがあるので、表現力の向上につながっています。



ホッとできる空間で息抜きも

空き時間はレッスン室で練習したり、友人と集まって話したりしています。校内にあるお気に入りの場所で過ごすのが好きですね。

Case 2
夜練



II 時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1						
2			音楽理論 (分析) 音楽史各論Ⅲ			
3	ソルフェージュ (SPⅢb)	20世紀 アンサンブル史(後期)			音楽史各論	
4		芸術音楽	英語 15-R			管アンサンブル
5	音楽理論 (分析)	音楽史各論	音楽理論 (分析)	オーケストラ 中級 クラス (5・6 限)		管アンサンブル

音楽に集中し、
追究できる
環境が心地よい

林田 慶太さん

桐朋学園大学 音楽学部 3年
管楽器専攻 (フルート)

9歳よりフルートをはじめ
12歳より永井由比氏に師事
2018年 つくばフルートコンクール2018
ジュニア部門 入選
2019年 桐朋学園音楽部門高校卒業演奏会 出演

朝が苦手なので放課後に練習時間を確保することが多いですね。自宅や学校のレッスン室を基本に、レッスン室の予約が埋まっているときは校舎の廊下で練習することも。毎日音楽に没頭して過ごしています。桐朋学園は自分の夢を叶えるために頑張っている人が大勢いる場所。お互いに素直に夢を語る、居心地のよい環境だと思います。

On a Thursday



準備や練習に向けて登校

オーケストラの授業は事前のセッティングも学生がやるんです。授業前は早めにホールに行き、時間に余裕をもって準備を始めます。



オーケストラの授業は貴重な体験

宗次ホールで行うオーケストラの授業はとても実践的。周りの演奏を聴いて学べることや気づくことも多く、最も好きな授業です。



空いた時間に音楽で遊ぶ

多方面から音楽の知識を深められるよう、練習の合間をぬって運指表を制作したり、作曲家を生年月日順に整理したりしています。

Case 3
学生会館



II 時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	芸術音楽		音の生理学β	音楽科教育法Ⅲ	
2		音楽文献学	楽書講読Ⅱ	音楽科教育法Ⅳ	音楽学専攻演習
3				指揮法 A	音楽史各論
4		芸術音楽			ドイツ語 14
5	音楽理論 (分析)	日本音楽概論			伴奏クラスI

頼れる先生や
仲間にもまれ
自立した日々を満喫

岩田 玲奈さん

桐朋学園大学 音楽学部 3年
音楽学専攻 選択副科: ピアノ

2005年 ヤマハ音楽教室「幼児科」入会
2008年 岩野めぐみ氏にピアノを師事
2016年 桐朋女子高等学校 音楽科(男女共学)入学
新井博江氏にピアノを師事
2019年 桐朋学園大学 入学
ピアノ専攻から音楽学専攻に転科

高校入学と同時に学生会館での暮らしをスタート。最初は不安でしたが優しい管理人さんがいたり歓迎会を開いてもらえたりと、すぐに慣れ、楽しい日々が過ごせるように。転科を悩んでいた際は先生が親身に相談に乗ってくれましたし、学生一人ひとりと向き合ってくれる桐朋学園なら、自分らしい将来の道が切り拓けると思います。

On a Friday



多彩な視点で学ぶ音楽学の授業

音楽関係の文献について調べ、学生が交代で発表を行う音楽学専攻演習は、多様な視点で学ぶことができる良い機会になります。



学びを支える充実の図書館

授業に必要な資料などは図書館で揃えることが多いですね。音源をその場で試聴したり、辞書を読んだり、よく利用しています。



初めての一人暮らしも安心の環境

日々の食事は部屋で自炊することが多いですね。困ったことがあったら管理人さんがサポートしてくれるので安心して暮らせます。

Our success

活躍する桐朋生

コンクール出場やオーケストラ参加など、様々なステージで活躍する桐朋生。
その経歴や活動内容、それぞれの想いについてご紹介します。



Pickup

己を鍛え、音を深め、憧れの舞台へ

第90回 日本音楽コンクール
ピアノ部門 第1位
岩谷賞、野村賞、井口賞、河合賞、
三宅賞、アルゲリッチ芸術振興財団賞

谷 昂登さん

桐朋女子高等学校 音楽科 (男女共学) 3年
ピアノ専門

幼い頃から憧れていたコンクールへの挑戦。
本選では、自分の魅力が最も引き出される曲
を選びました。本番での緊張感をイメージし
ながら練習を重ね、ベストな演奏を追求。実
技レッスンや授業での学びを通じて演奏家の
想いを考察し、「音もたらす意味」への理解
を深めながら本番に挑みました。



Pickup

緊張に勝る喜びを体感

第75回 全日本学生音楽コンクール
チェロ部門 大学の部 第3位

中山 遥歌さん

桐朋学園大学 音楽学部 3年
弦楽器専攻 (チェロ)

コンクール前の練習では、先生から音程や
テンポの揺れなどをどう改善すべきかの指導
を受けながら、徹底的に技術や表現力を磨き
ました。本番直前はとても緊張してしまっ
たが、いざ舞台上立つと、たくさんの人や審査員
の方に聴いていただけることが嬉しく、緊張
が解けて気分が高揚したのを覚えています。

コンクールでの活躍 (2021年度実績)

第90回 日本音楽コンクール

【ピアノ部門】

第1位 / 岩谷賞 / 野村賞 / 井口賞 /
河合賞 / 三宅賞 / アルゲリッチ芸術振興財団賞
高校3年 ピアノ 谷 昂登さん

【バイオリン部門】

第1位 / 岩谷賞 / 増沢賞 / レウカディア賞 / 鷺見賞 /
黒柳賞 / 一般財団法人 ITOH バイオリン貸与
高校2年 ヴァイオリン 中野 りなさん

【クラリネット部門】

第2位 桐朋オーケストラ アカデミー研修生
クラリネット 宇根 康一郎さん

第75回 全日本学生音楽 コンクール・全国大会

【ピアノ部門 高校の部】

第3位 高校3年 ピアノ 中山 結菜さん

【バイオリン部門 高校の部】

第2位 SD1年 ヴァイオリン 大久保 瑠名さん

【チェロ部門 大学の部】

第3位 大学3年 チェロ 中山 遥歌さん

【チェロ部門 高校の部】

第1位 / 横浜市民賞 高校2年 チェロ 西田 翔さん

第3位 高校3年 チェロ 八木 雪舟さん

ジュネーブ国際音楽コンクール

【チェロ部門】

第1位 2017年SD修了 チェロ 上野 通明さん

ヒンデミット国際ヴィオラコンクール

第1位 / 聴衆賞

2019年大学卒業 ヴァイオリン 湯浅 江美子さん

バルトーク国際コンクール

【弦楽四重奏部門】

第1位 クアルテット・インテグラ
2020年SD退籍 ヴァイオリン 三澤 響果さん
2021年大学卒業 ヴァイオリン 菊野 凜太郎さん
2019年大学卒業 ヴィオラ 山本 一輝さん
2019年大学卒業 チェロ 築地 杏里さん

ARD ミュンヘン国際音楽コンクール

【ピアノデュオ部門】

第3位 2016年大学卒業 ピアノ 坂本 彩さん

第19回 東京音楽コンクール

【声楽部門】

第1位 修士2年 声楽 梶田 真未さん

Pickup

原点に立ち返り、さらなる成長を

第90回 日本音楽コンクール
バイオリン部門 第1位
岩谷賞、増沢賞、レウカディア賞、
鷺見賞、黒柳賞、
一般財団法人 ITOH バイオリン貸与

中野 りなさん

桐朋女子高等学校 音楽科 (男女共学) 2年
弦楽器専門 (ヴァイオリン)

私は演奏中に考え過ぎてしまうことがあるの
で、何重にも書き込んでいた楽譜を新たにコ
ピーし直し、真っ白な気持ちで練習に取り組
みました。先生には「準備が大切」というア
ドバイスをいただき、工夫を重ねて精一杯練
習した結果、自信を持って本番の舞台上で演奏
することができました。



※紙面の都合で一部のみを掲載しています。(入賞時の学年を記載しています)

Our concerts

コンサートスケジュール

本学主催・共催等の演奏会が数多く開催されます。その他公演および詳細は、ホームページの「演奏会情報」でご案内していますのでご覧ください。

- 4月**
- 10 (日) **卒業演奏会 (大・高合同) ①**
紀尾井ホール
 - 24 (日) **卒業演奏会 (大・高合同) ②**
紀尾井ホール
 - 25 (月) **声楽コンサート**
桐朋学園宗次ホール

- 5月**
- 9 (月) / 11 (水) **管楽アンサンブルの夕べ**
桐朋学園宗次ホール
 - 23 (月) **第105回 室内楽演奏会**
桐朋学園宗次ホール
 - 31 (火) **ヴィオラスペース**
指揮：齋藤 友香理
紀尾井ホール

稲室 来実さん
桐朋女子高等学校 音楽科 (男女共学) 2年
作曲専門

自作曲が演奏される喜びを感じながら

自作曲を作品展で披露できると知ったときは感動しました。ホールで実際に演奏される機会があるのはとても嬉しいですね。



作曲作品展に
出展!

- 6月**
- 8 (水) **高校 Student Concert (Pf+弦) ①**
桐朋学園宗次ホール
 - 13 (月) **高校 Student Concert (Pf+弦) ②**
桐朋学園宗次ホール

17 (金) **第44回 作曲作品展**
東京オペラシティ・リサイタルホール

20 (月) **大学 Student Concert (Pf+弦) ①**
桐朋学園宗次ホール

22 (水) **大学 Student Concert (Pf+弦) ②**
桐朋学園宗次ホール

27 (月) **第106回 室内楽演奏会**
桐朋学園宗次ホール

7月

- 8 (金) **オーケストラ演奏会**
指揮：清水 麗輝
桐朋学園宗次ホール

9 (土) **オーケストラ演奏会**
指揮：篠崎 靖男
調布市グリーンホール 大ホール

スチューデント
コンサートに出演!



佐伯 涼真さん
桐朋学園大学 音楽学部 3年 ピアノ専攻

本番の経験が、飛躍的な成長につながる

コンサートは大きな会場で演奏できる貴重な機会。その中で耳を使って音を創り上げる過程は学びになりました。

8月

- 31 (水) **桐朋ピアノ・コンペティション (本選)**
桐朋学園宗次ホール

10月

- 17 (月) **第15回 桐朋ピアノ・ガラコンサート**
府中の森芸術劇場 ウィーンホール

19 (水) **大学 Student Concert (Pf+弦) ③**
桐朋学園宗次ホール

24 (月) **大学 Student Concert (Pf+弦) ④**
桐朋学園宗次ホール

11月

- 16 (水) **オーケストラ演奏会**
指揮：清水 麗輝
桐朋学園宗次ホール

12月

- 3 (土) **音楽大学オーケストラ・フェスティバル**
指揮：高関 健 with 武蔵野音大
東京芸術劇場

6 (火) **第41回 パーカッションの夕べ**
桐朋学園宗次ホール

9 (金) **チェロアンサンブル**
府中の森芸術劇場 ウィーンホール

12 (月) **ハープアンサンブルの夕べ**
桐朋学園宗次ホール

24 (土) **第32回 Symphonic Winds 演奏会**
桐朋学園宗次ホール

1月

- 13 (金) **合唱の夕べ**
府中の森芸術劇場 ウィーンホール

14 (土) **オーケストラ演奏会**
調布市グリーンホール

18 (水) **弦楽オーケストラ演奏会**
指揮：清水 麗輝
桐朋学園宗次ホール

3月

- 11 (土) **大学ピアノ専攻卒業演奏会**
浜離宮朝日ホール

25 (土) / 26 (日) **音楽大学オーケストラフェスティバル 合同オケ**
指揮：井上 道義
東京芸術劇場、
ミュウザ川崎 シンフォニーホール

オーケストラ
フェスティバルに
コンミスとして出演!



趙 賢真さん
桐朋学園大学 音楽学部 3年
弦楽器専攻 (ヴァイオリン)

舞台上での経験が私の糧になる

著名な指揮者に指導をしていただき、コンミスとしてオーケストラで演奏することができました。

桐朋 木の香りコンサート

音楽教室に通う小中学生から、高校生・大学生・大学院生まで…桐朋で学ぶ学生・生徒が出演するコンサートです。開催予定やプログラムなどはTwitterに随時掲載していますので、ご確認ください。(コンサートの開催を中断しておりましたが、再開を予定しております。)



@toho_kinokaori



仙川キャンパス

〒182-8510
東京都調布市若葉町 1-41-1
Tel.03-3307-4101 (代)

仙川キャンパスは、桐朋学園宗次ホールを併設する校舎を含む2棟の校舎を備えています。どちらも隈研吾氏デザインの木造校舎で、木ならではの快適な音環境を提供し、桐朋生に愛される学び舎として定着しています。高校生と大学生が学年の垣根を越えて学ぶキャンパスは、様々な楽器の音や人の声が混ざり合い、活気あふれる交流の空間を生み出しています。



- 1 隈研吾氏によるデザイン
- 2 木のぬくもりを感じられる教室
- 3 憩いの場となる学生ホール

桐朋学園宗次ホール (H館)

仙川キャンパスH館は、講義室、レッスン室、そして専用の音楽ホールである桐朋学園宗次ホールで構成されています。このホールは、最大客席数234席と小ぶりながら、フルオーケストラを収容できる広いステージを備えています。ホールにはCLTと呼ばれる木材が使用され、森の中にいるような空間に柔らかな音が広がります。



アネックス 〒182-8510 東京都調布市若葉町 2-19-47

仙川キャンパスから徒歩約10分の場所に、音響面、デザインともに高い評価を受けている「アネックス」があります。大小様々な広さの15室を有し、主にレッスンで使用されています。

仙川図書館

2021年9月、リニューアル・オープンしたばかりの図書館です。広々とした明るいスペースには、桐朋生に欠かせない楽譜や図書が約23,500点並べられ、専門知識を備えた図書館員が桐朋生の図書館での学びをサポートします。



調布キャンパス

〒182-0021
東京都調布市調布ヶ丘 1-10-1
Tel.042-444-7055 (代)

調布キャンパスは、主に大学院生のための研究施設として、高校生・大学生の活動拠点である仙川キャンパスと対をなす学び舎になっています。地下部分には図書館施設が入り、1階には読書しながら飲食できるスペースが設けられています。動的な仙川キャンパスに対し、静的でスタティックな調布キャンパスは、院生たちが落ち着いて研究できる環境を提供します。



- 1 日建設計・山梨知彦氏によるデザイン
- 2 2階廊下には窓の大きな休憩スペース
- 3 響きを良くする木板が設置された教室

調布図書館

2022年3月、大学院生のための図書館に生まれ変わりました。1階部分は学生ホールに隣接、食事や談話をしながら図書や雑誌を読むことのできるオープンなスペースに、地下部分は約60,000点の楽譜や図書を所蔵し、調査や研究に集中できるスペースになっています。



学生会館

調布市調布ヶ丘
(京王線調布駅より徒歩約15分)

遠方に住む女子生徒・学生のための居住施設です。各住戸は防音設備付きの洋室となっており、練習や勉強に必要な諸条件を確保する他、浴室・トイレ・ミニキッチン・エアコン・インターネットコネクションなどを各室に備え、管理人が常駐しています。



📍 仙川キャンパス・調布キャンパス
保健室・学生相談室

桐朋生の皆さんが安心して充実した学校生活を送れるよう、保健スタッフもサポートします。保健室には看護師が常駐し救急対応と健康相談を行い、学生相談室では学校生活に関する様々な相談に応じます。病気や障がいのために特別な配慮を必要とする方も、こちらでご相談ください。

Next stage

【桐朋生の進路・進学】

音楽を究め続けるあなたの人生には、これからも様々な選択肢があります。桐朋学園では、留学をはじめ、進路や進学について学生一人ひとりに寄り添いサポートしています。

高校卒業後の進路 …… 45	大学院への進学 …… 48
大学卒業後の進路 …… 46	特待生・奨学金制度 …… 49
留学について …… 47	入試情報 …… 50

Next stage

高校卒業後の進路

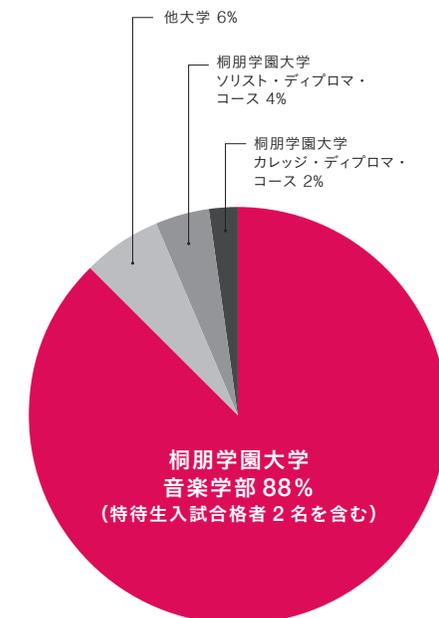
桐朋学園大学への進学その他、 実技に特化したコースへの道も

桐朋学園では、高校から大学まで一貫した音楽教育を実践しています。大多数の生徒が指定校推薦制度で桐朋学園大学音楽学部への進学を希望し、ソリスト・ディプロマ・コースやカレッジ・ディプロマ・コースなどの実技に特化したコースに進学する生徒もいます。その他では、留学や他大学への進学を選択する生徒もいます。

桐朋学園大学音楽学部への推薦基準

桐朋女子高等学校音楽科を卒業見込みの者で、桐朋女子高等学校校長が推薦し、次の要件を満たす者。

- ・ 高校在学中の授業および実技レッスン（副科ピアノ、理論科ピアノなども含む）への出席が良好で、平日頃より勉学の意欲を持つ者。
- ・ 素行、生活態度が桐朋学園大学音楽学部に推薦するにふさわしいこと。
- ・ 卒業に必要な科目の単位をすべて修得する見込みであり、次の科目については、高校3年次に一定以上の成績を修めていること。
【専門実技／聴音・ソルフェージュ／和声法／音楽史】



▶ 2021年度の卒業生進路 (卒業生48名)

Other course

桐朋独自の多様な学び場

▶ ソリスト・ディプロマ

受験資格：中学校卒業以上の者

ピアノ、ヴァイオリン、チェロ、フルートにおいて、ソリストとしての将来性を有すると認められた者を対象に、実技の重点的教育を行うことを目的としたコースです。

▶ オープンカレッジ「指揮コース」

受験資格：高等学校卒業以上の者

桐朋学園大学の指導陣による「指揮実技」のレッスンを年間24回受講することができるコースです。

▶ 研究生

受験資格：大学音楽学部卒業以上の者

音楽大学の卒業生で、さらに実技の研究を深めたい者のために設置されています。

設置専攻 管楽器／打楽器／ハープ／古楽器／指揮／作曲／音楽学

▶ カレッジ・ディプロマ

受験資格：高等学校卒業以上の者

実技を中心とした自由で高度な専門教育を行うコースです。

▶ 科目等履修生

受験資格：高等学校卒業以上の者

学科系の講座の単位修得を目的として受講するコースです。実技は受講できません。

※詳細は本学ホームページ (<https://www.tohomusic.ac.jp/>) をご覧ください。

大学卒業後の進路

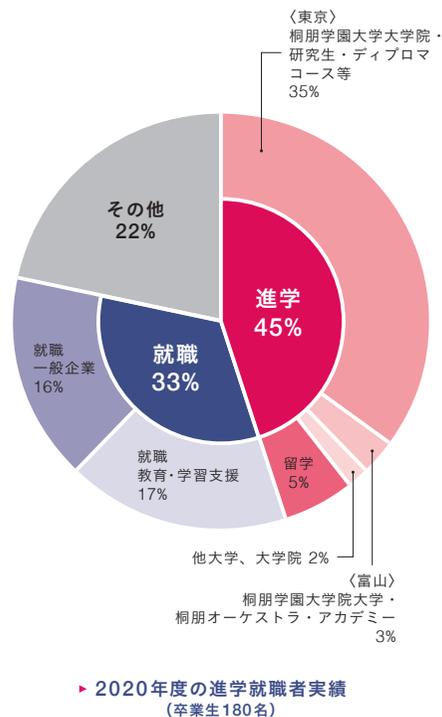
さらなる研鑽を積むために多くの学生が進学を選択

5割近い学生が桐朋学園の大学院や研究科、桐朋オーケストラ・アカデミーへ進学する他、新たな活動拠点を求めて海外留学する学生も多数います。また、桐朋で学んだ専門性を生かし、教育・学習支援機関や音楽関連企業などへ就職する学生もいます。

桐朋オーケストラ・アカデミー

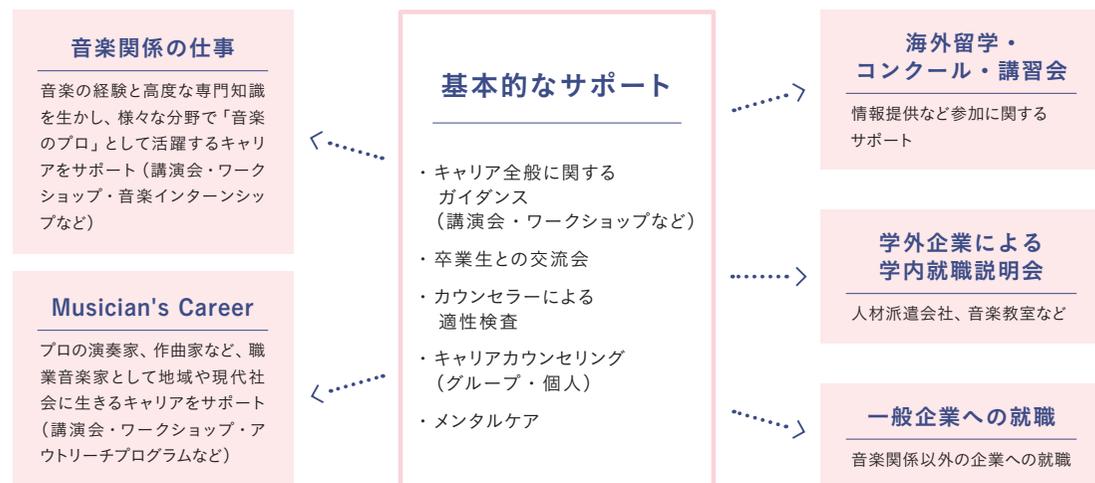
プロのオーケストラ・プレイヤーの育成を目的とした研究機関で、弦・管・打楽器奏者を主な対象としています。富山市との連携による演奏会や、大学院大学との共同企画、海外留学生との交流など、多彩な活動を行っています。

富山キャンパス
〒930-0138 富山県富山市呉羽町1884-17



キャリアサポート

選択肢を絞るのではなく、可能性を広げる——それが、桐朋のキャリア支援の理念です。幅広い視野を身につけ、自分自身とじっくり向き合い、世界でたったひとつの、あなたならではの人生を開拓してください。キャリア支援センターでは、その模索と実現を後押しすべく、それぞれの未来に目を向けたアドバイスを行っています。



留学について

個々の主体性を尊重する、目的に合わせた留学支援

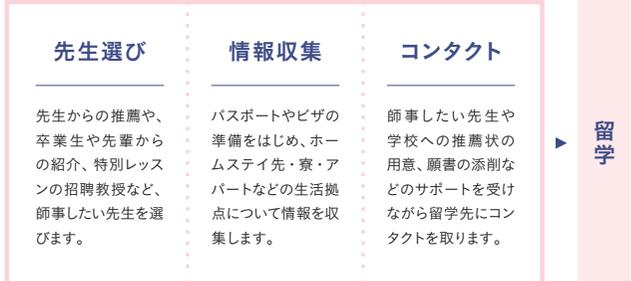
音楽家を志したときから、留学を視野に入れている人も多いのではないのでしょうか。桐朋学園では一人ひとりの目的に合った留学が計画できるように有益な情報を提供しています。高校から大学院までの間でいつ留学するかはその人次第です。それぞれのタイミングで海外へ向かう桐朋生をサポートします。

留学するために

在学中に1～2週間の短期留学で情報収集をしたり、セミナーや音楽祭で出会った音楽家へアプローチしたりと、留学先や師事する先生の選び方は様々です。本学では、海外を拠点に活躍する卒業生の人脈や、留学経験を持つ講師や身近な先輩からも情報を得ることができます。また、サンタ・チェーリア音楽院、ケルン音楽大学、デトモルト音楽大学との短期交換留学制度もあります。

留学先 (2019～2020年度実績) ※

パリ国立高等音楽舞踊学校、エコールノルマル音楽院、スコラ・カントルム音楽院、ウィーン国立音楽大学大学院、グラーツ国立音楽大学、リューベック音楽大学、プラハ音楽院、フォアアールベルク州立音楽院、デトモルト音楽大学、リヨン国立高等音楽舞踊学校、他（留学準備も含む）



留学中の先輩の声



留学先：
パリ国立高等音楽院 (フランス)
谷口 知聡さん
桐朋学園大学 音楽学部
ピアノ専攻
2021年卒業
フロラン・ポファール氏に師事
滞在期間：2021年9月～現在



留学先：
ベルリン芸術大学 (ドイツ)
古澤 香理さん
桐朋女子高等学校 音楽科 (男女共学)
弦楽器専門 (ヴァイオリン)
2017年卒業
マーク・ゴトー二氏に師事
滞在期間：2017年10月～現在

国際都市で世界にふれる

現代音楽作品の演奏に携わりたいという強い希望があり、この分野での教育環境が整った学校を留学先を選びました。桐朋で高校からフランス語を学んだことが役立っていますが、世界中から芸術家が集まるこの場所では、ときに彼らの母国での悲惨な体験を知る機会もあり、語学だけでなく世界の問題について学ぶ必要性を感じます。

“教えない”先生から学ぶ

ゴトー二先生は「教えずに教える先生」という感じですが、毎回大切な何かを教わっていることは確かです。生徒が自ら成長することを促してくれる先生で、留学してから音楽に対する見方が変わりました。ドイツ語での授業は大変ですが、ソルフェージュや楽典などで何一つ苦労しなかったのは、桐朋で鍛えられたおかげです。

Next stage

大学院への進学

より深く、洗練された 音楽知識と技能の習得を目指して

2017年4月、日本の音楽教育発展の先導役を担う教育・研究機関として仙川・調布両キャンパスに大学院を開設。実践的なカリキュラムを通じて、広く音楽界で活躍できる演奏家の養成、深い音楽的知識や教養を有する教育者や研究者の養成を目指します。



修士課程 標準修業年限：2年

養成しようとする人材

- ・確かな実践能力や豊かな知識をもって活躍できる演奏家

▶ カリキュラム・ポリシー

大学院音楽研究科は、音楽実践に不可欠な高度な能力を習得し、自立した音楽活動を行うにあたって必要な能力を養うことを目的とする。その目的のために、各コースの特質に適合した教育課程を編成している。修士課程は2年以上の在学期間に、コースごとに開設される実技あるいは実習・演習などを履修し、また、学術的研究を支える関連科目を所定の範囲で履修しなければならない。学位審査は、修了演奏／作品および研究レポート、または修士論文によって行われ、合格者は修士（音楽）の学位を授与される。

ピアノコース	ソロ／歌曲伴奏／コレペティション
弦楽器コース	ヴァイオリン／ヴィオラ／チェロ／コントラバス
声楽コース	オペラ／歌曲
作曲コース	
音楽学コース	

博士後期課程 標準修業年限：3年

養成しようとする人材

- ・極めて高度な知識と教養及び卓越した技能を備え、音楽に関する学術的な研究を自立的に行うことができ、将来、主に高等教育機関において教育者、研究者として活躍できる人材
- ・豊かな学識に裏打ちされた実践能力によって、世界の音楽界で中核的指導力を発揮できる人材

▶ カリキュラム・ポリシー

専門領域における極めて高度な知識、教養、見識及び卓越した技能をもって研究及び演奏を行う能力を獲得する。修了後は高等教育機関で教育や研究に従事するために必要な問題発見能力、課題解決能力、他の専門領域や他者の知見を理解しクリティカルに検証する能力を習得する。また、教育研究を持続的に推進する人材として、社会や文化に対する広い視野と高い見識を培う。

ピアノ・弦楽器・声楽・作曲・音楽学研究領域

ピアノ・弦楽器・声楽・作曲・音楽学の5つの研究領域において、各自専門の学術研究・実技研究を実施。計画的に研究を進め、積極的に議論や発表を行うことで、音楽研究に必要な方法論や技術を習得。各自の研究成果は研究演奏や博士論文にて発表。修了までに学術研究・実技研究の一体化を目指す。

Other

▶ 桐朋学園大学院大学

（富山市）
【音楽研究科 演奏研究専攻（修士課程）】

設置専攻 ピアノ／ヴァイオリン／ヴィオラ／チェロ
アンサンブルを重視した実技研究を特色としています。

Scholarship student

特待生制度

特待生入学試験合格者、入学試験、または、所定の学内試験で専攻実技の成績が極めて優秀であると認められた学生に、「入学金」「運営維持費」「授業料」などの全額または一部免除をもって、これを顕彰する特待生制度を設けています。

▶ 2022年度実績

桐朋女子高等学校	11名	*入学金一部40万円 免除3名 *入学金一部30万円 免除1名 *入学金一部20万円 免除1名 *運営維持費一部20万円 免除6名
桐朋学園大学	18名	*授業料・施設設備費・運営維持費200万円 免除1名 *入学金・授業料一部128万円 免除2名 *施設設備費一部、運営維持費50万円 免除1名 *施設設備費一部、運営維持費41万円 免除1名 *入学金一部30万円 免除1名 *運営維持費30万円 免除1名 *運営維持費一部20万円 免除11名
桐朋学園大学院	8名	*授業料・施設設備費・運営維持費145万円 免除1名 *授業料一部80万円 免除1名 *授業料一部30万円 免除5名 *授業料一部20万円 免除1名
ソリスト・ディプロマ・コース	3名	*受講料・施設設備費100万円 免除1名 *受講料一部20万円 免除1名 *受講料一部10万円 免除1名

Scholarship

奨学金制度

成績優秀者または経済的な理由により就学が困難な学生を対象に各種の奨学金制度を設け、多くの学生の勉学の支えとなっています。

▶ 桐朋独自の奨学金制度 ※すべて給付奨学金です。

01 桐朋学園音楽部門奨学金

成績が良好で心身ともに健全であり、経済的理由で就学が困難な学生・生徒に対し、1年毎に選考を行い給付されます。

2021年度 高校：授業料の3割7名／2割4名／1割2名
大学：授業料の4割5名／3割11名／2割35名／1割51名
大学院：授業料の3割1名／2割5名／1割4名
ソリスト・ディプロマ：受講料の2割1名

02 桐朋学園音楽部門特別奨学金

成績の特に秀でた学生・生徒に対し給付されます。

2015年度 1名 50万円

03 桐朋学園音楽部門芸術教育整備・拡充資金及び奨学金基金奨学生

当該年度の入学試験で、秀抜なる成績を得た学生・生徒に給付されます。

2019年度 1名 授業料一部（30万円）免除（大学院生）

04 宗次徳二桐朋学園大学 大学院特待奨学金

宗次徳二氏の寄附により設立され、成績が優秀でありながら、経済的理由のため就学が困難な本学の大学院生に給付されます。

2021年度 5名 各120万円

05 桐朋学園音楽部門同窓会奨学金

桐朋学園音楽部門同窓会から、向学心があり心身ともに健全で、経済的理由によって就学が困難な大学2年生を対象に給付されます。

2021年度 5名 各10万円

06 チェロアンサンブル・サイトウ奨学金

当該年度の入学試験で、秀抜なる評価を得たチェロ専攻の学部学生に給付されます。

2022年度 4名 各10万円
（学部生2名、ソリスト・ディプロマ生2名）

07 桐朋学園音楽部門留学支援奨学金 「江崎スカラシップ」

江崎正道氏の寄附による留学支援奨学金。大学生以上のピアノ専攻生が対象。在学中に海外高等教育機関へ留学をする者に一人当たり500万円が支給されます（年間2名まで）。

2021年度 1名 500万円

【その他の奨学金】※給付、貸与など、様々な奨学金があります。

- 日本学生支援機構奨学金
- 各都道府県・地方公共団体奨学金
- 企業、交通遺児育英会等の奨学金

入試情報

本学は、以下3つをアドミッション・ポリシーとして、入学者に求める学生像の方針を定めています。

- ・音楽表現に対する能力や意欲を有し、自己の目標を持っている者
- ・音楽文化に関する知識と技量を習得し、社会の発展に貢献する意思のある者
- ・音楽文化の領域を学ぶために必要な理解力・構想力を持っている者

<p>▶ 夏期・冬期講習</p> <p>受験準備のための講習会を、夏期と冬期に開催しています。入学試験に準じた模擬試験や、模擬試験をふまえた授業・レッスンをを行いますので、ぜひ活用してください。</p>	<p>7/28～7/31 受講申し込み期間：6/14～7/1</p> <p>講習科目：a. 専攻実技（模擬試験、個人レッスン） b. 新曲視唱・聴音（模擬試験、授業、相談） c. 楽典（模擬試験、授業、相談） d. 和声【作曲・指揮のみ】（授業） e. 副科ピアノ（演奏と講評） f. 作曲理論ピアノ【作曲・指揮のみ】（模擬試験、個人レッスン）</p>	<p>12/25～12/26 受講申し込み期間：11/26～12/6</p> <p>講習科目：a. 専攻実技レッスン b. 新曲視唱・聴音（模擬試験、授業） c. 楽典（模擬試験、授業） d. 和声・作曲授業【作曲・指揮のみ】 e. 副科ピアノ（演奏と講評） f. 作曲理論ピアノ【作曲・指揮のみ】（演奏と講評）</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

募集要項	2022			2023		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<p>高校</p> <p>▶ 桐朋女子高等学校 音楽科（男女共学）</p> <p>推薦第一種入学試験 募集専門：管楽器/打楽器/ハープ/声楽/作曲</p> <p>推薦第二種入学試験 ※桐朋女子中、桐朋中出身者対象 募集専門：ピアノ/弦楽器/管楽器/打楽器/ハープ/声楽/作曲</p> <p>一般入学試験 募集専門：ピアノ/弦楽器/管楽器/打楽器/ハープ/声楽/作曲</p>		<p>願書受付 11/1～5 ※郵送必着</p>		<p>願書受付 1/16 ※郵送必着</p> <p>推薦（第一、二種）入学試験 試験 1/22 合格発表 1/22</p>	<p>願書受付 1/24～2/4 ※郵送必着</p> <p>一般入学試験 試験 2/13～15 合格発表 2/17</p>	
<p>大学</p> <p>▶ 桐朋学園大学 音楽学部</p> <p>総合型選抜（特待生） 募集専攻：ピアノ/弦楽器</p> <p>学校推薦型選抜（一般） 募集専攻：弦楽器cb/管楽器/打楽器/ハープ/古楽器/声楽/作曲/音楽学</p> <p>一般選抜（一般・編入） 募集専攻：ピアノ/弦楽器/管楽器/打楽器/ハープ/古楽器/声楽/指揮/作曲/音楽学</p> <p>飛び入学試験 ※高校2年次修了から大学へ。 募集専攻：ピアノ/弦楽器</p>		<p>学校推薦型選抜（一般） 試験 11/27 合格発表 12/6</p>	<p>願書受付 11/14～25 ※郵送必着</p> <p>総合型選抜（特待生）Ⅱ期（AO方式） ※「飛び入学試験」が同時期にあります 一次試験（書類審査） 二次試験 12/20 ピアノ、12/21 弦楽器 合格発表 12/22</p>	<p>願書受付 1/5～17 ※1/17 消印有効</p> <p>一般選抜（一般・編入） 試験 2/9～13 合格発表 2/17</p>		
<p>大学院</p> <p>▶ 桐朋学園大学大学院 音楽研究科（修士課程・博士後期課程） 募集：ピアノ/弦楽器/声楽/作曲/音楽学</p>	<p>願書受付 10/15～19 ※郵送必着</p> <p>修士課程 試験 11/5～6 合格発表 11/9</p>			<p>願書受付 1/5～17 ※郵送必着</p> <p>博士後期課程 試験 2/6～7 合格発表 2/8</p>		
<p>ディプロマ</p> <p>▶ ソリスト・ディプロマ・コース ソリストとして将来性を有すると認められた者を対象に高度な実技教育を目的としたコースです。 募集専攻：ピアノ/ヴァイオリン/チェロ/フルート 受験資格：中学校卒業以上</p> <p>▶ カレッジ・ディプロマ・コース 実技を中心とした教育を受けるコースとして設置され、幅広い年齢層の学生が在籍しています。 募集専攻：ピアノ/弦楽器/管楽器/打楽器/ハープ/古楽器/声楽/指揮/作曲/音楽学 受験資格：高等学校卒業以上</p>		<p>願書受付 11/14～25 ※郵送必着</p> <p>ソリスト・ディプロマ・コース 試験 12/20 ピアノ、12/21 ピアノ以外 合格発表 12/22</p>			<p>願書受付 2/8～22 ※郵送必着</p> <p>カレッジ・ディプロマ・コース 試験 3/2 合格発表 3/7</p>	

Access Map

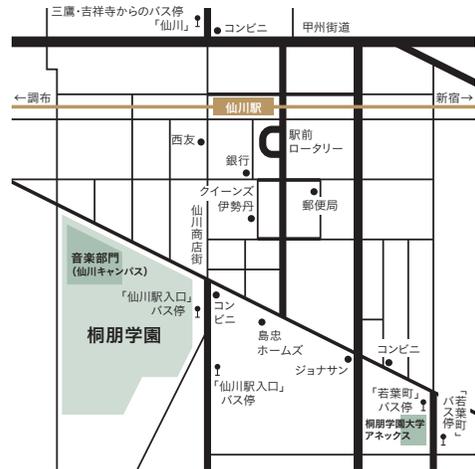
アクセスマップ

仙川キャンパス

〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1
TEL.03-3307-4101 FAX.03-3307-4354

- ・京王線「仙川駅」より徒歩約5分
- ・小田急線「成城学園前駅」よりバス約15分
- ・JR中央線「吉祥寺駅」よりバス約25分
- ・JR中央線「三鷹駅」よりバス約25分

▶ 仙川駅からのご案内

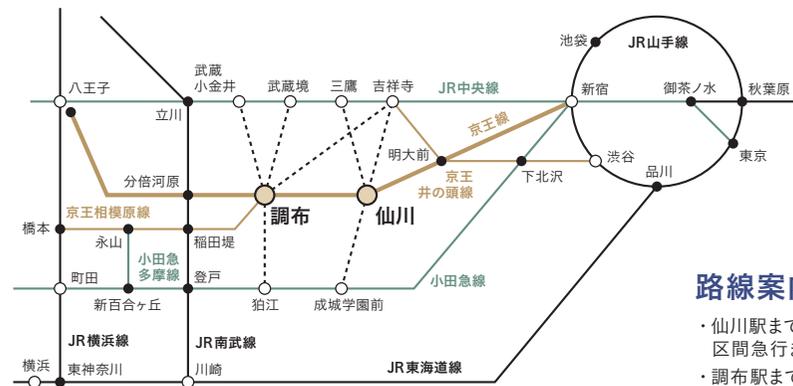


調布キャンパス

〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘1-10-1
TEL.042-444-7055 FAX.042-444-7056

- ・京王線「調布駅」より徒歩約10分

▶ 調布駅からのご案内



路線案内

- ・仙川駅まで京王線「新宿駅」より
区間急行または快速で約18分
- ・調布駅まで京王線「新宿駅」より特急で約18分

本学ホームページはこちら ▶ <https://www.tohomusic.ac.jp/>



桐朋学園大学 音楽学部
桐朋女子高等学校 音楽科
(男女共学)

仙川キャンパス

〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1
TEL.03-3307-4101 FAX.03-3307-4354

調布キャンパス

〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘1-10-1
TEL.042-444-7055 FAX.042-444-7056

<https://www.tohomusic.ac.jp/>